



リスの調査隊

合計76.5%が「植物由来素材」に対して
環境にやさしいイメージがあると回答

「環境」に関する調査結果まとめ（2023）

生活者アンケートによるリスパック独自調査

2023年2月



2021年・2022年に実施した際の結果も掲載

【アンケート概要】

■ 調査方法 Webアンケートシステム

■ 実施時期 2023年1月19日～1月23日

■ 調査人数 1,000名

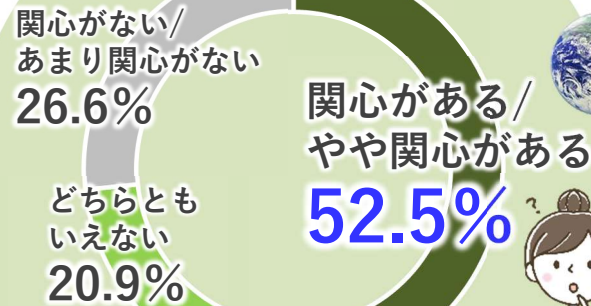
年代・性別 エリア	20代・女性	30代・女性	40代・女性	50代・女性	60代以上・女性	20代・男性	30代・男性	40代・男性	50代・男性	60代以上・男性	合計
①北海道・東北	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
②首都圏・関東	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
③信越・北陸・中部	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
④近畿	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
⑤中国・四国・九州・沖縄	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	20名	200名
合計	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	100名	1,000名

■ 質問項目

質問	掲載ページ
環境問題・環境対策で関心のある項目	P4・5
普段からできる個人での環境にやさしい行動について ①ごみの分別の実施 ②マイバッグなどの活用 ③使い捨てプラ製品の使用抑制 ④環境にやさしい商品の購入 ⑤リサイクル品回収への協力 ⑥食品ロスを減らす行動 ⑦水光熱の無駄づかいを減らす行動 ⑧公共交通機関での移動 ⑨エコドライブの実施 ⑩省エネ型家電や電気器具の使用	P6～15
カーボンニュートラルの認知度	P17
環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージ	P18～20
使い捨てプラスチックの使用状況	P21
マイバッグとレジ袋について	P22
プラスチック製食品容器のイメージ	P23
環境にやさしいイメージの素材	P24・25
バイオマスプラスチックの認知度	P26・27
環境に配慮した食品容器と商品購入との関係	P28～31
環境訴求と購入動機	P32
プラスチックの必要性	P33

◆環境問題・環境対策への関心

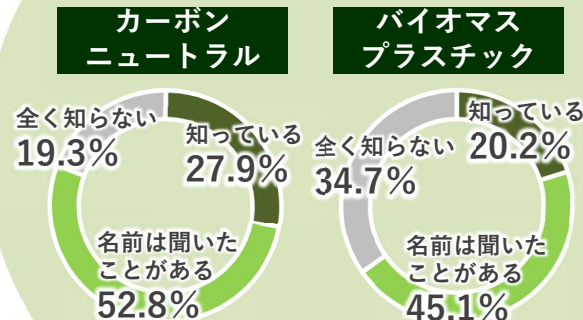
P4



半数以上が環境問題・環境対策に関心がある

◆カーボンニュートラル・バイオマスプラスチックの認知度

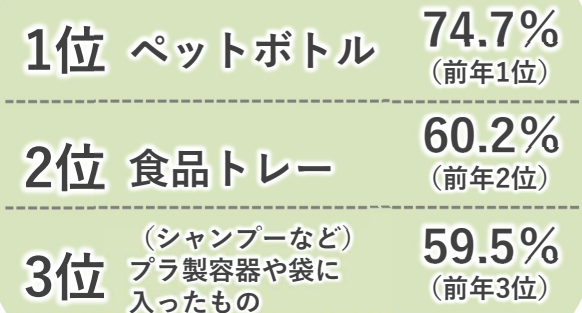
P17・26



「カーボンニュートラル」「バイオマスプラスチック」とともに認知度が高い

◆使い捨てプラスチックの使用状況について

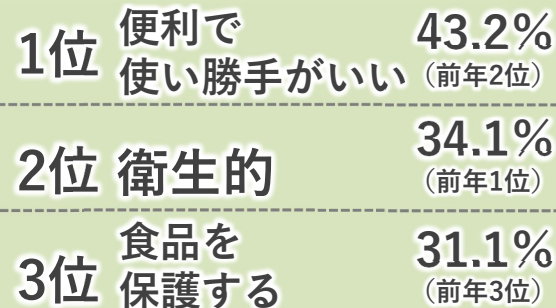
P21



前年と比較し順位は不動

◆プラスチック製食品容器のイメージ

P23



前年と比較し1位と2位が逆転

◆環境にやさしいイメージの素材

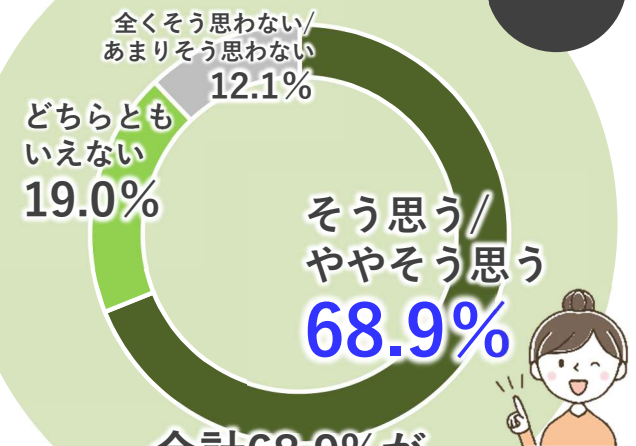
P24



合計76.5%が「植物由来素材」に対して環境にやさしいイメージがある

◆プラスチックの必要性

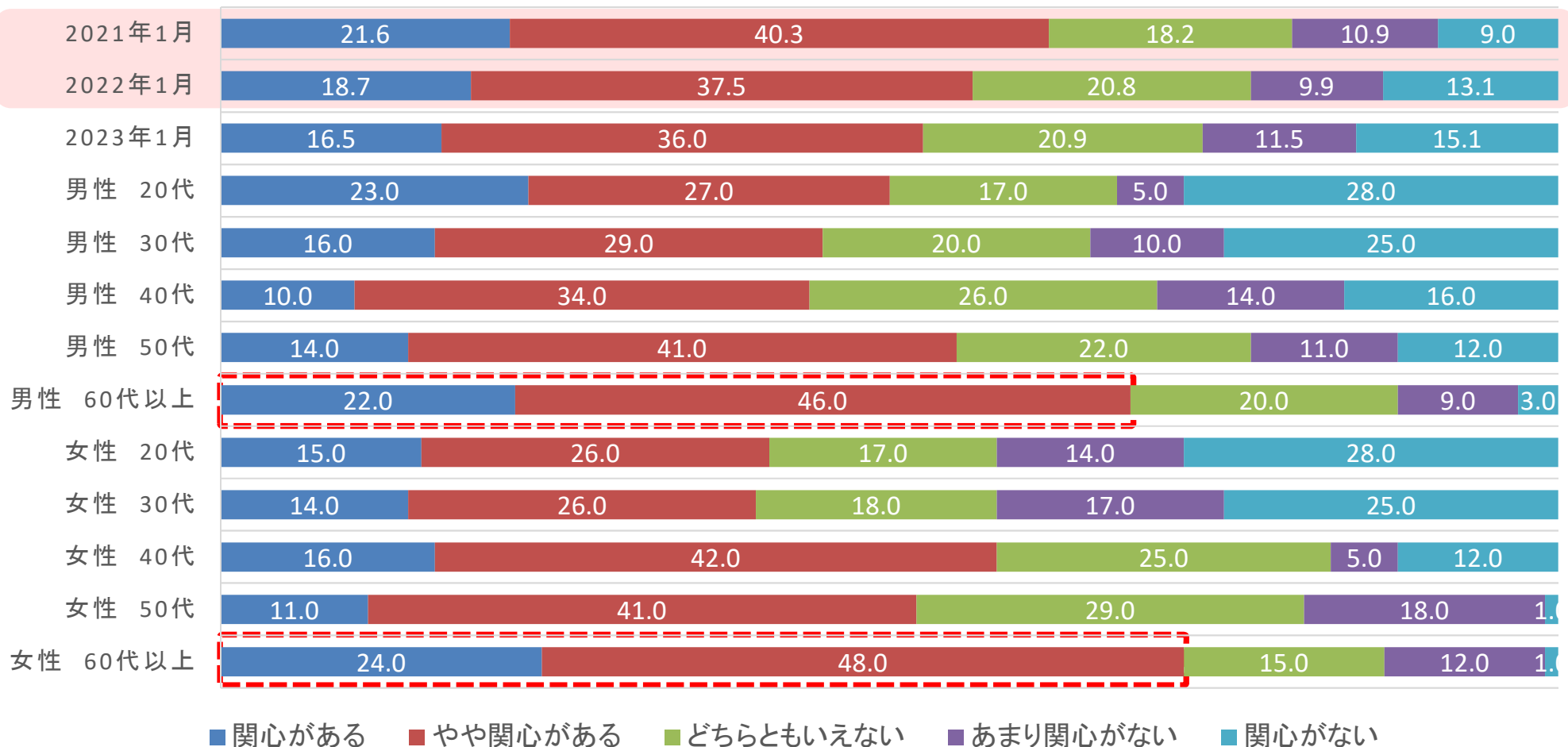
P33



合計68.9%が生活の中にプラスチックが必要だと感じている

昨今、様々な環境問題が話題にあがりますが、あなたは環境問題や環境対策への関心はありますか？（単一回答）

N数=1,000名



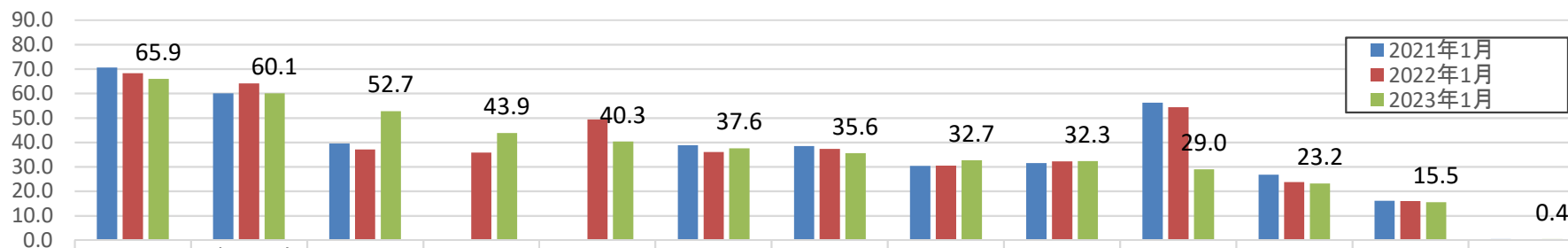
「関心がある・やや関心がある」と回答したのが合計52.5%。
 60代以上の環境への関心が高く
 「関心がある・やや関心がある」の合計が、男女ともに約7割。

あなたが環境問題について関心のある項目を教えてください。（複数回答）

N数=734名

※Q1で「あまり関心がない」「関心がない」と回答した方を除き回答。

※「気候変動」「エネルギー資源の節約」は2022年からの追加項目の為、2021年データはありません。



	地球温暖化	ごみの減量やリサイクル	食品ロス	気候変動	エネルギー資源の節約	食の安全や食育	海洋汚染	大気汚染	緑や水辺の保全	水質汚濁	生物多様性の保全	環境教育	その他
■ 2021年1月	70.7	60.0	39.6			38.8	38.5	30.3	31.6	56.2	26.7	16.1	0.5
■ 2022年1月	68.3	64.2	37.1	35.8	49.4	36.1	37.3	30.5	32.2	54.4	23.8	16.0	0.4
■ 2023年1月	65.9	60.1	52.7	43.9	40.3	37.6	35.6	32.7	32.3	29.0	23.2	15.5	0.4
男性 20代	56.7	40.3	28.4	22.4	22.4	32.8	23.9	25.4	38.8	29.9	23.9	19.4	0.0
男性 30代	56.9	46.2	36.9	27.7	33.8	29.2	33.8	23.1	33.8	26.2	23.1	23.1	3.1
男性 40代	55.7	57.1	41.4	32.9	31.4	30.0	25.7	24.3	37.1	21.4	18.6	14.3	0.0
男性 50代	63.6	50.6	50.6	39.0	39.0	28.6	40.3	33.8	24.7	31.2	24.7	11.7	0.0
男性 60代以上	78.4	69.3	54.5	63.6	53.4	38.6	55.7	43.2	39.8	37.5	26.1	12.5	0.0
女性 20代	53.4	51.7	50.0	44.8	27.6	39.7	24.1	29.3	27.6	17.2	17.2	15.5	1.7
女性 30代	63.8	70.7	46.6	37.9	43.1	39.7	34.5	34.5	34.5	31.0	25.9	15.5	0.0
女性 40代	61.4	62.7	65.1	42.2	38.6	37.3	27.7	24.1	28.9	21.7	16.9	9.6	0.0
女性 50代	75.3	74.1	66.7	49.4	50.6	38.3	33.3	38.3	23.5	30.9	19.8	16.0	0.0
女性 60代以上	82.8	70.1	73.6	65.5	52.9	57.5	47.1	44.8	34.5	37.9	33.3	19.5	0.0

関心のある環境問題は、1位「地球温暖化」65.9%。

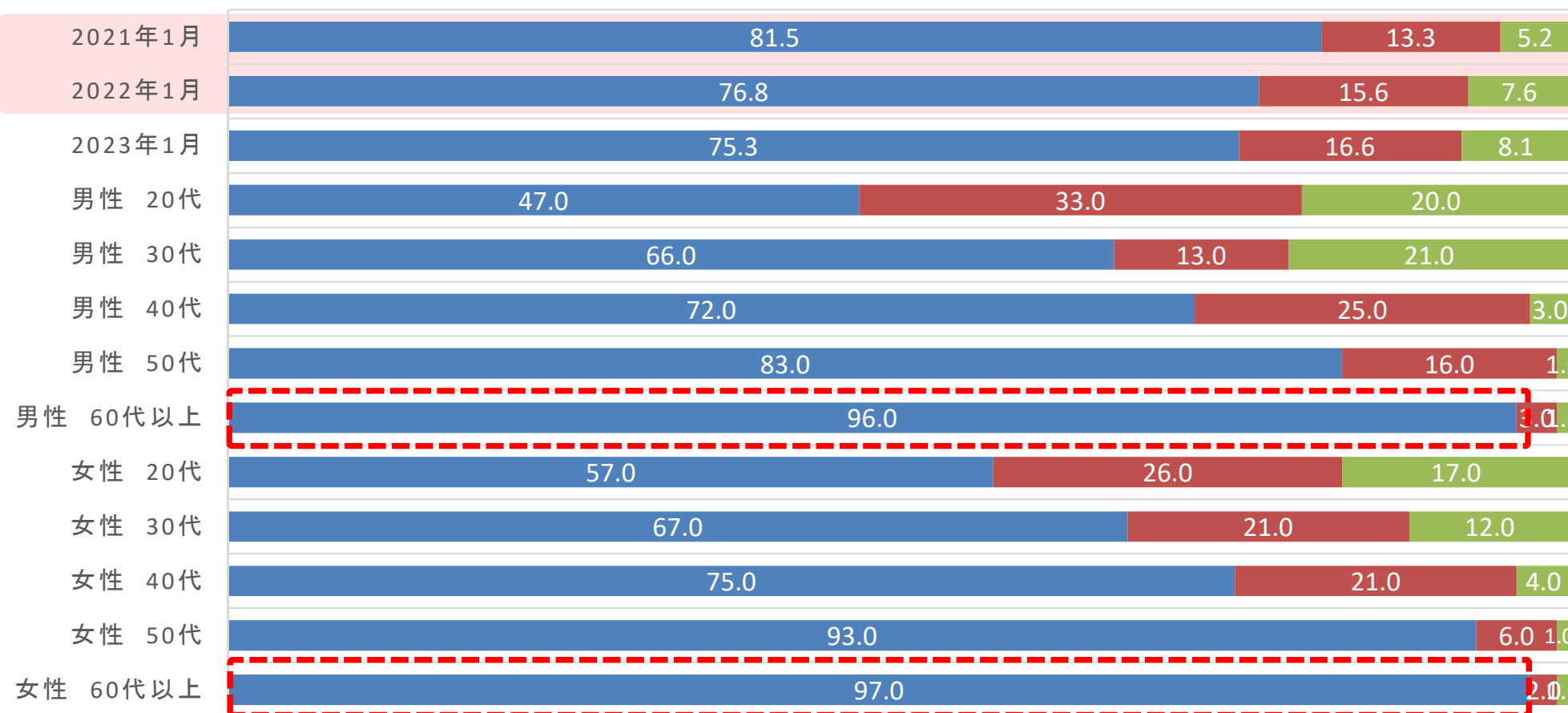
2位「ごみの減量やリサイクル」60.1%・3位「食品ロス」52.7%。

前年と比較し、食品ロスについての関心が大きく上がっている。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【ごみをきちんと分別している】（単一回答）



■ いつも実施している ■ 時々実施している ■ 実施していない

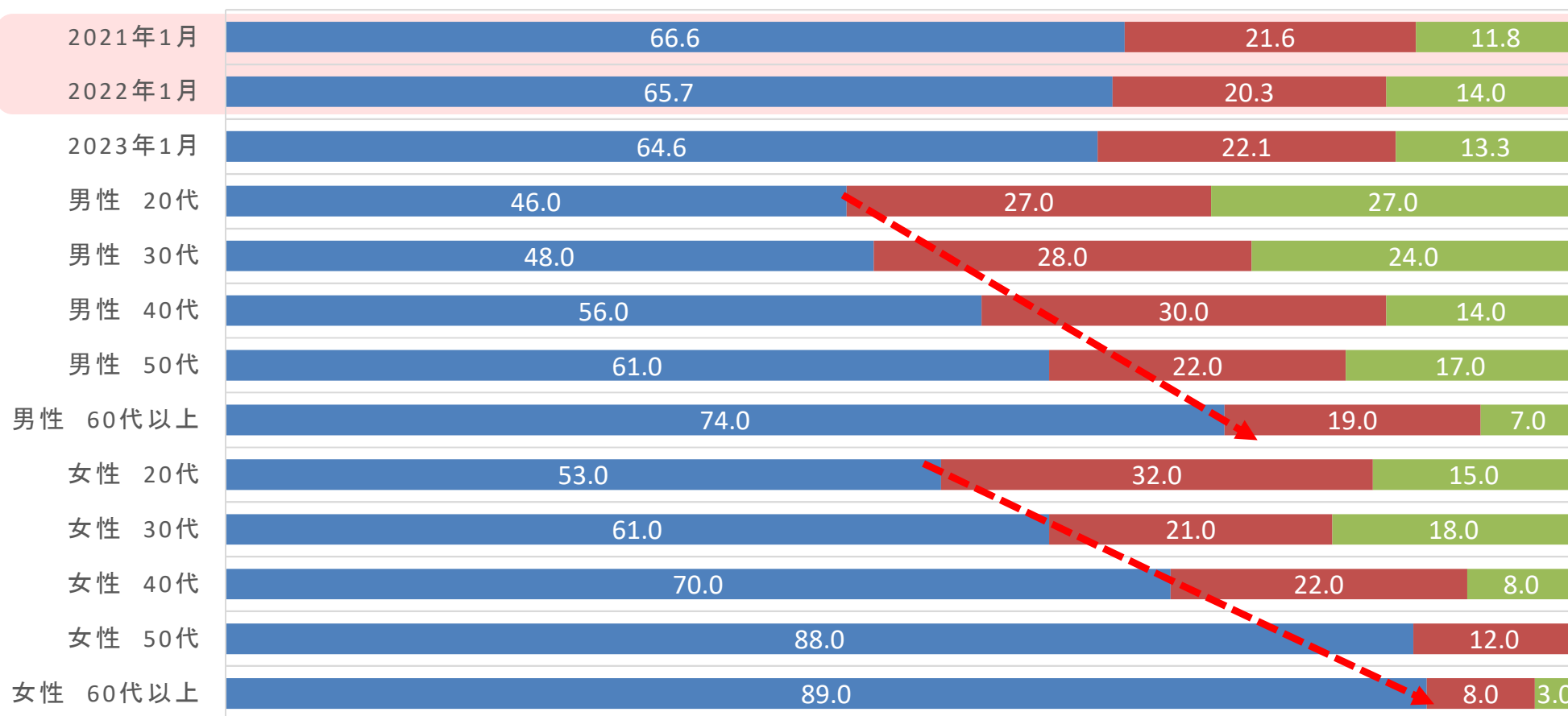
「いつも実施している」の回答率は75.3%と高いものの
前年と比較すると微減。

年代が高い程「いつも実施している」の割合は大きくなり
60代以上は男女ともに9割を超える。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数= 1,000名

【マイバッグ・マイボトルなどの活用】（単一回答）



■ いつも実施している ■ 時々実施している ■ 実施していない

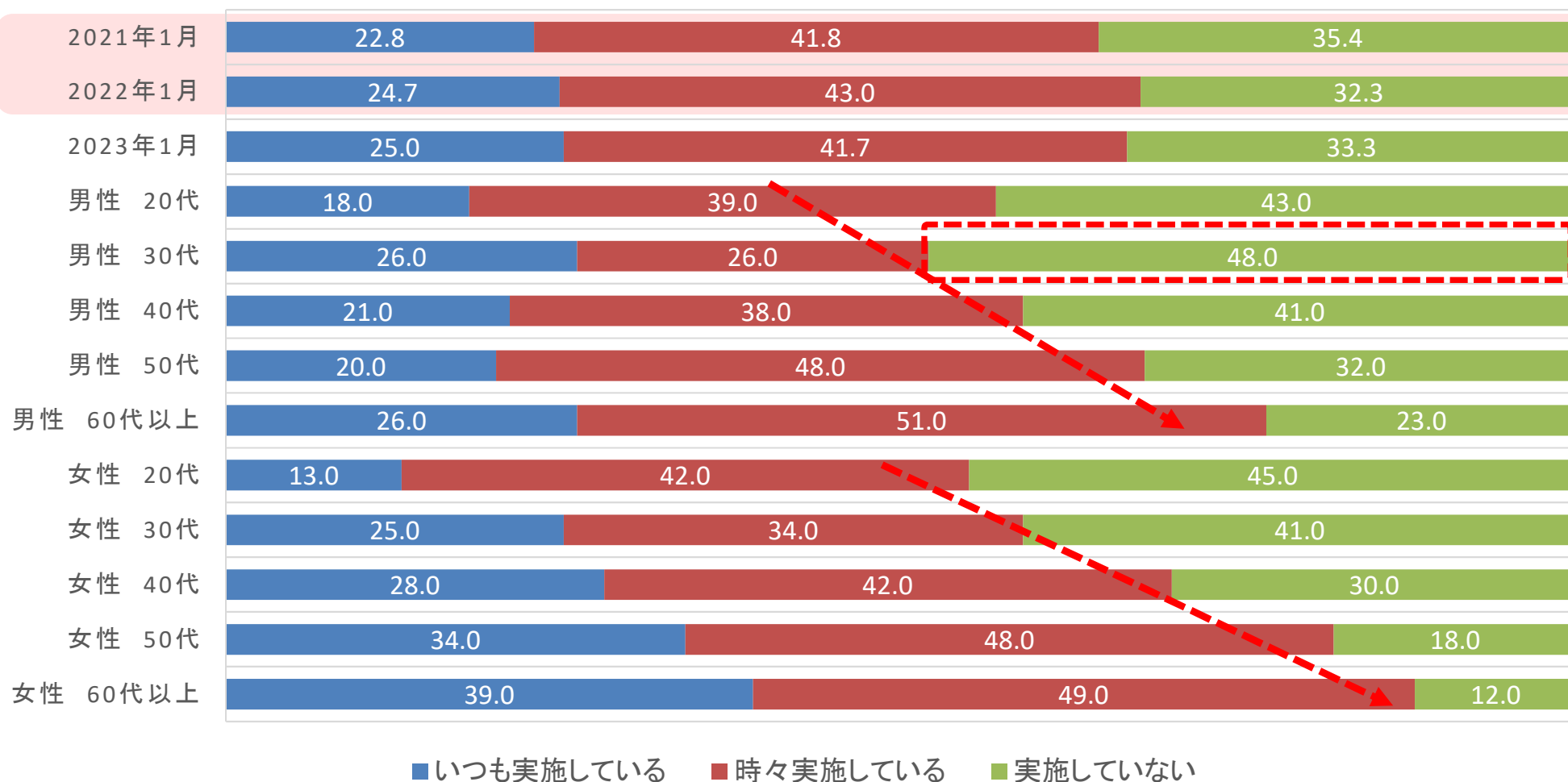
「いつも実施している」の回答率は64.6%

男女ともに年代が上がるにつれて「いつも実施している」の回答率が
高くなっている。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数= 1,000名

【使い捨てプラスチック製品をなるべく使用しない】（単一回答）

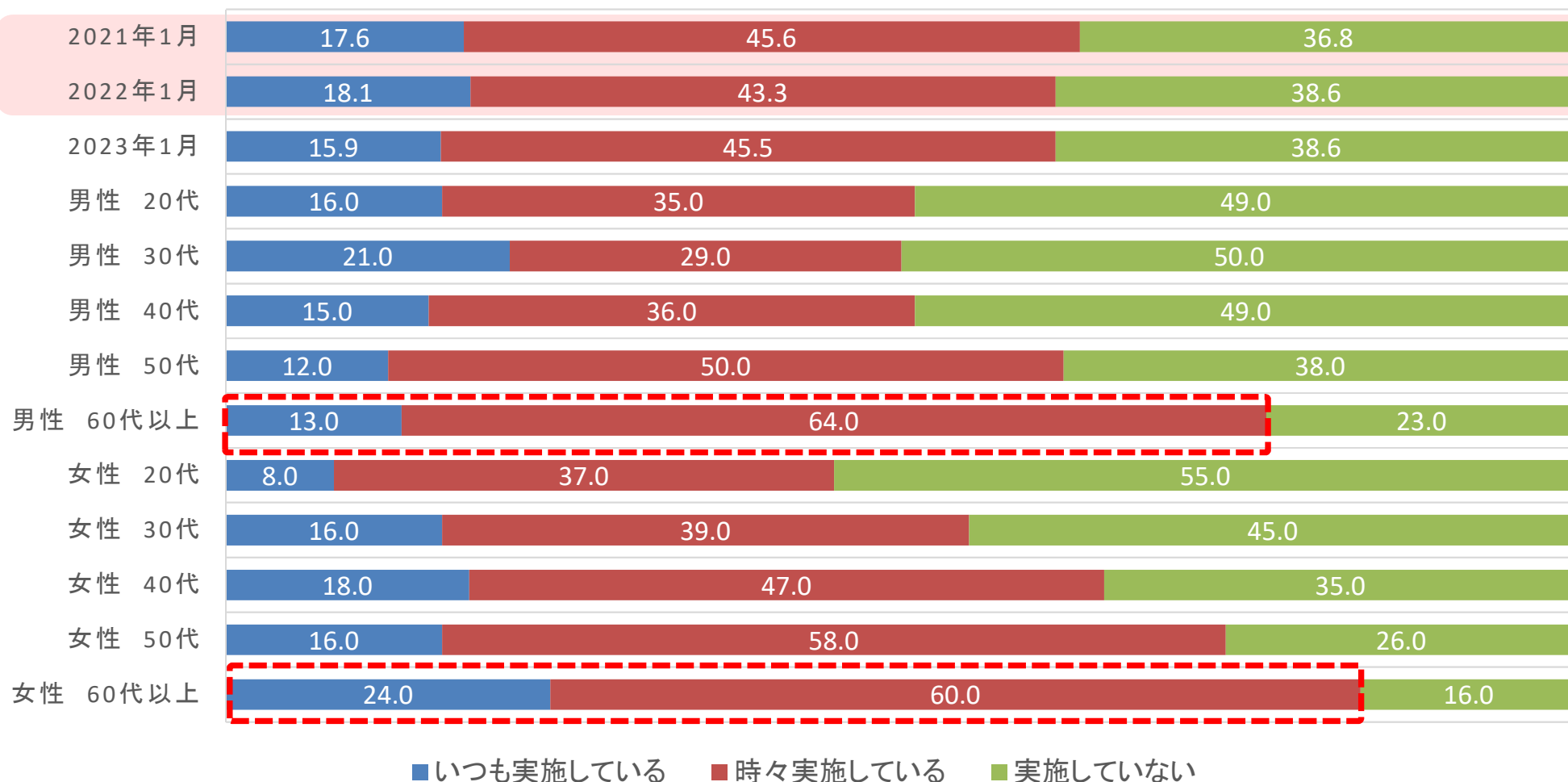


「いつも実施している」の回答率は25.0%となり、前年と比較して横ばい。
一方で、30代男性の約半数は「実施していない」と回答している。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数= 1,000名

【環境にやさしい製品・商品を選んで購入する】（単一回答）

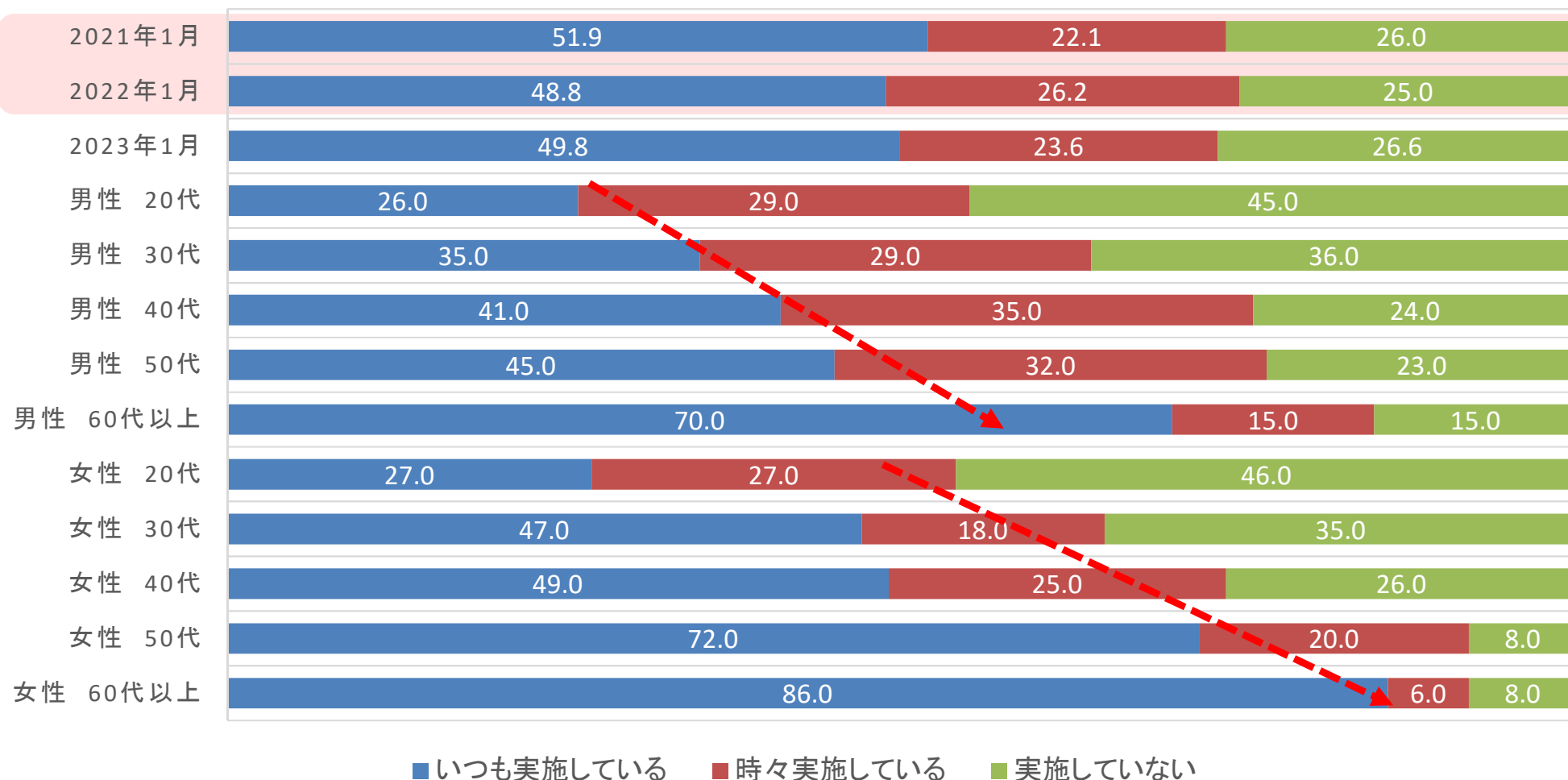


「いつも実施している」の回答率は15.9%となり、前年と比較して微減。
男女60代以上は実施する傾向が他の年代と比べて高い傾向である。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数= 1,000名

【牛乳パックや食品トレーなどリサイクル品回収への協力】（単一回答）

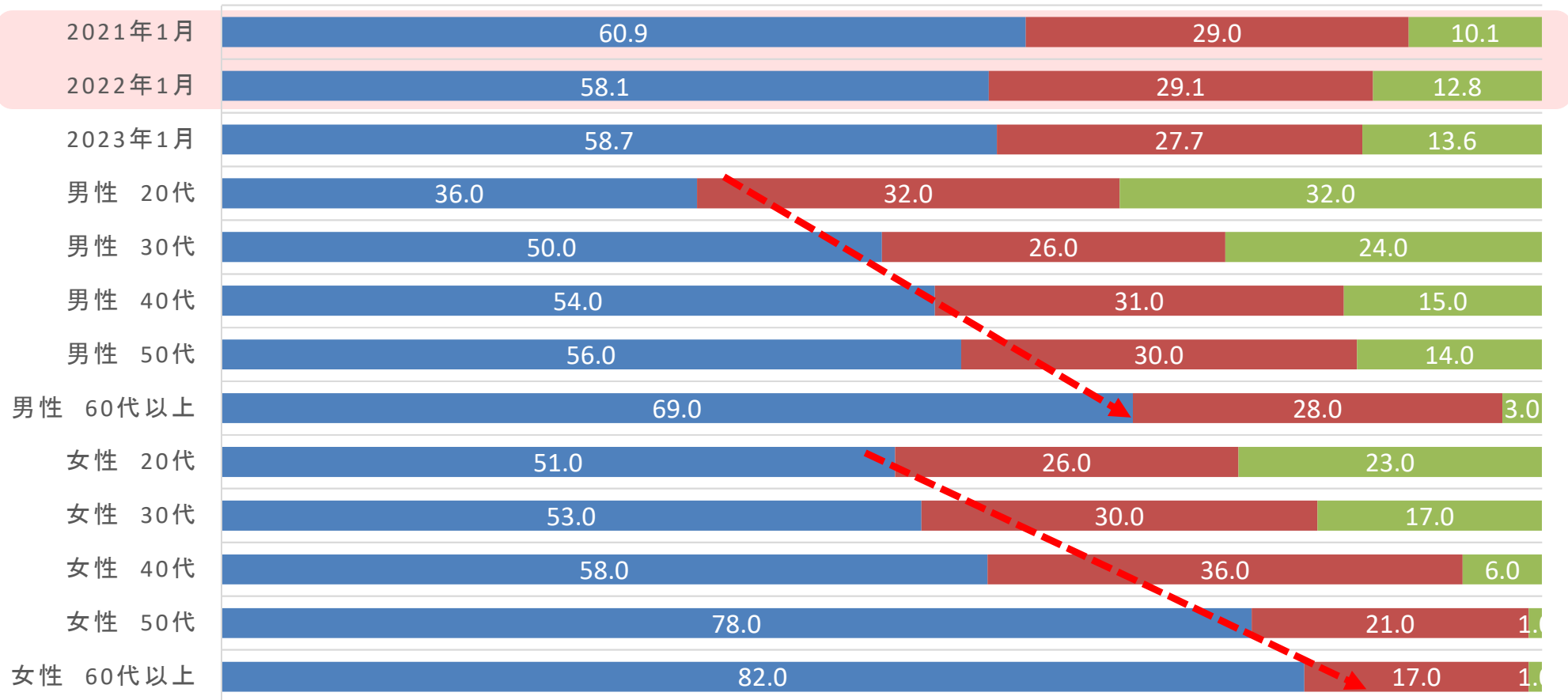


「いつも実施している」の回答率は49.8%となり、前年と比較して横ばい。どの年代も、男性より女性の方が「いつも実施している」の割合が大きい。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【食べ残しや食材の無駄（食品ロス）を減らす】（単一回答）



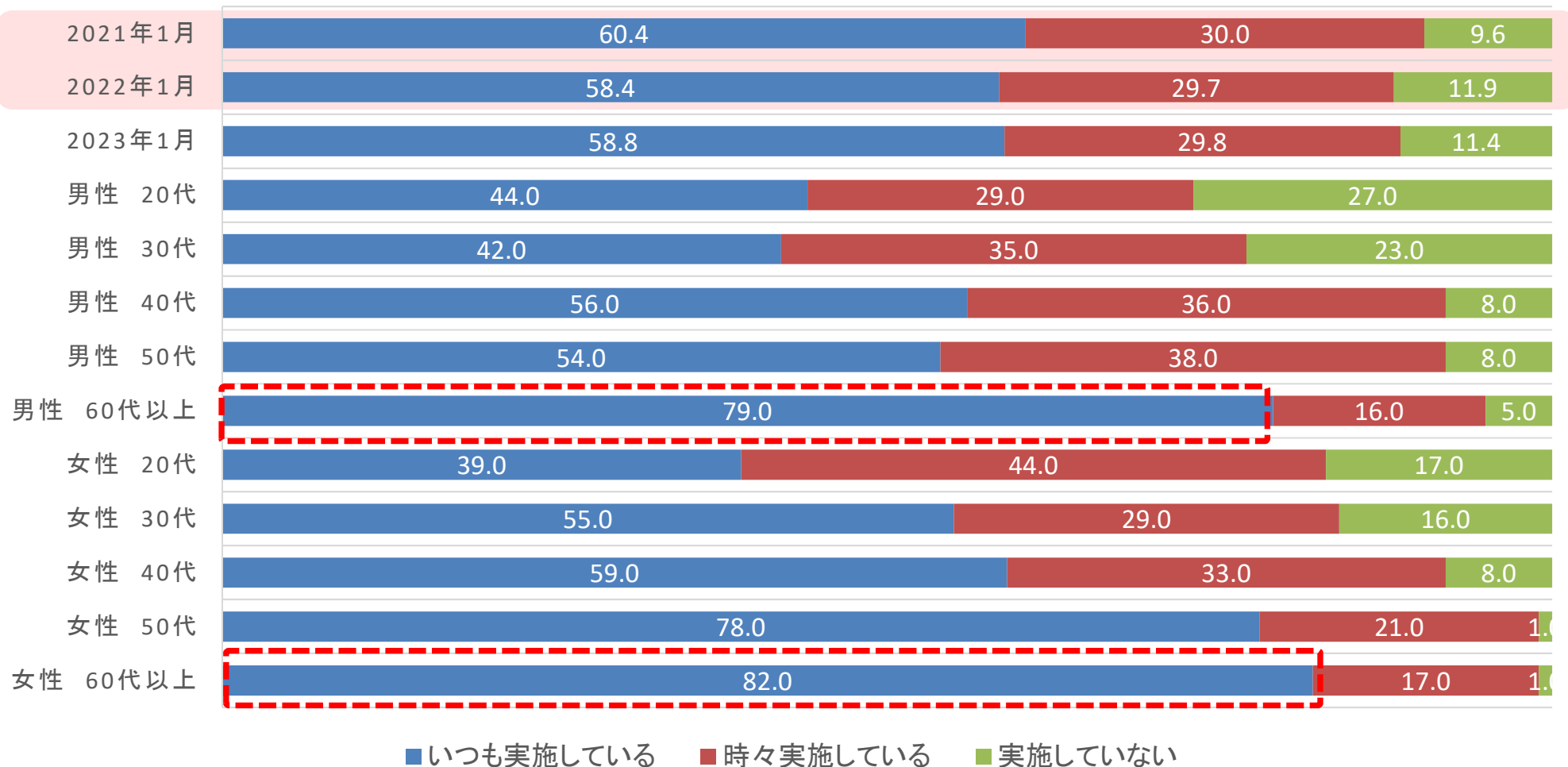
■ いつも実施している ■ 時々実施している ■ 実施していない

「いつも実施している」の回答率は58.7%となり、前年と比較して横ばい。
60代以上の女性は、82.0%が「いつも実施している」と回答しており
他の年代・性別よりも回答率が高い。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【電気・ガス・水などの無駄づかいに気を付ける】（単一回答）

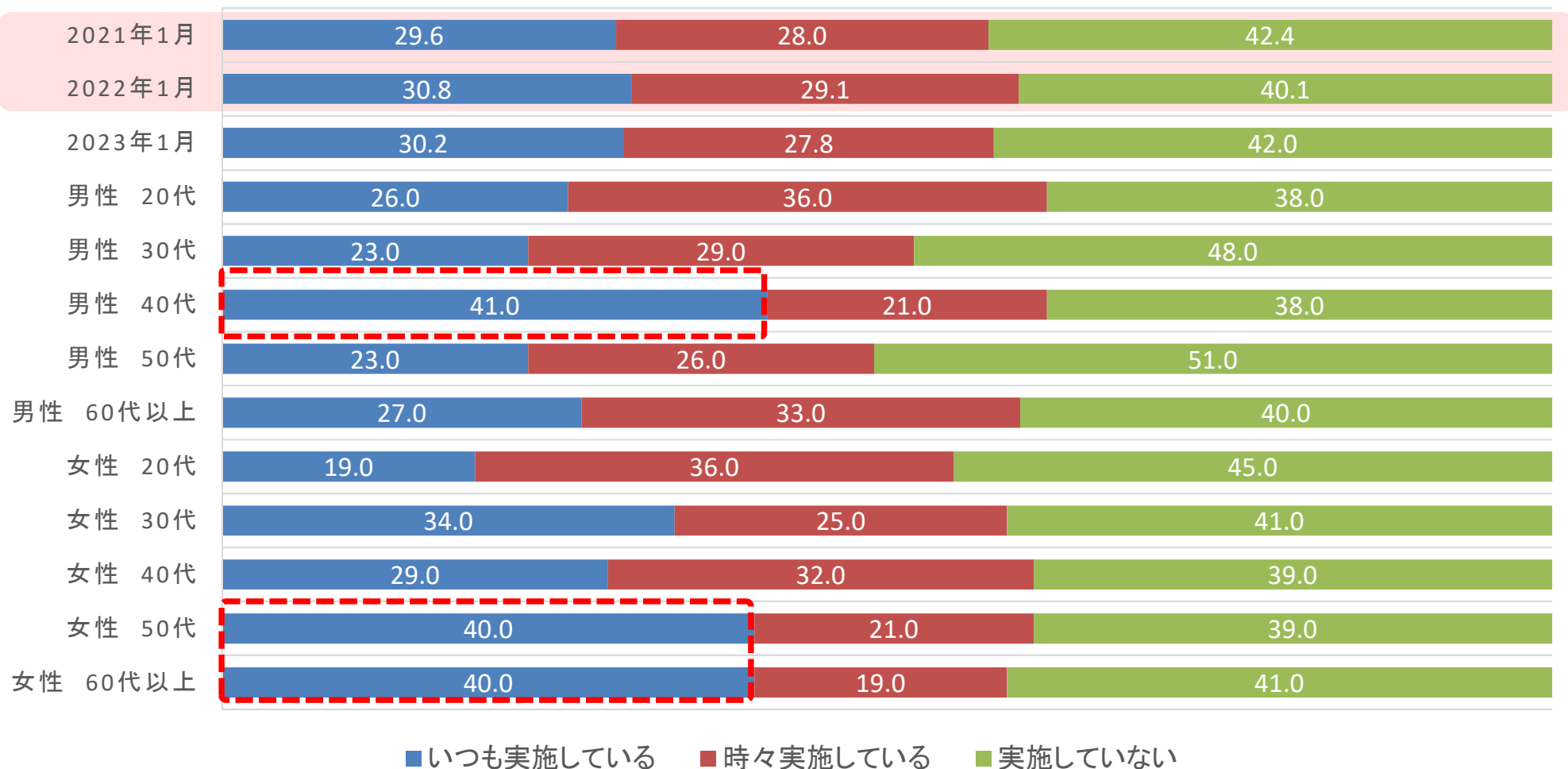


「いつも実施している」の回答率は58.8%となり、前年と比較して横ばい。
60代以上の女性は、82.0%が「いつも実施している」と回答しており
他の年代・性別よりも回答率が高い。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【車利用を控え公共交通機関で移動する】（単一回答）

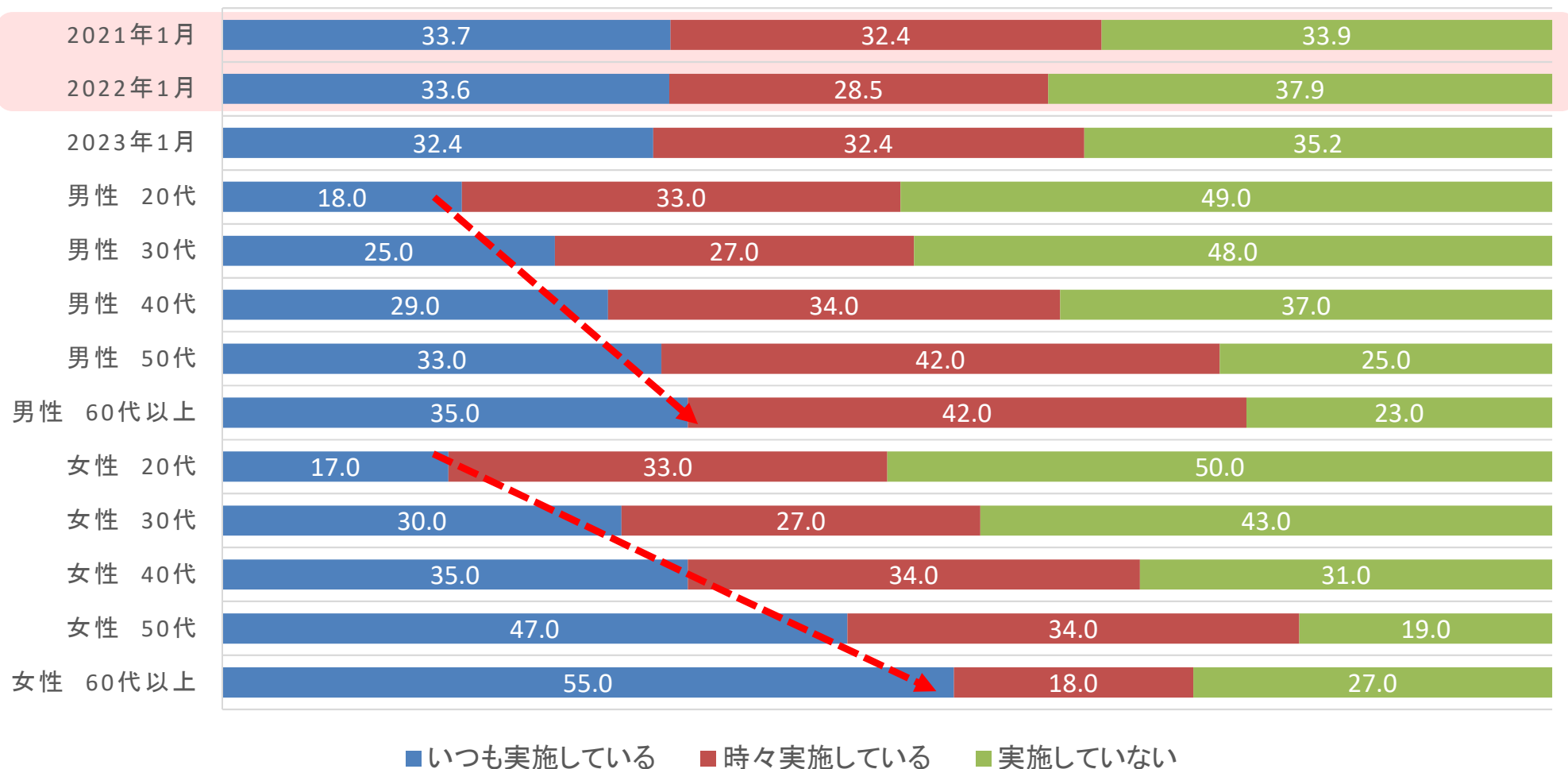


「いつも実施している」の回答率は30.2%となり、前年と比較して横ばい。
男性は40代が最も実施しており、女性は50代、60代以上の実施率が高い。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【アイドリングストップなどエコドライブの実施】（単一回答）

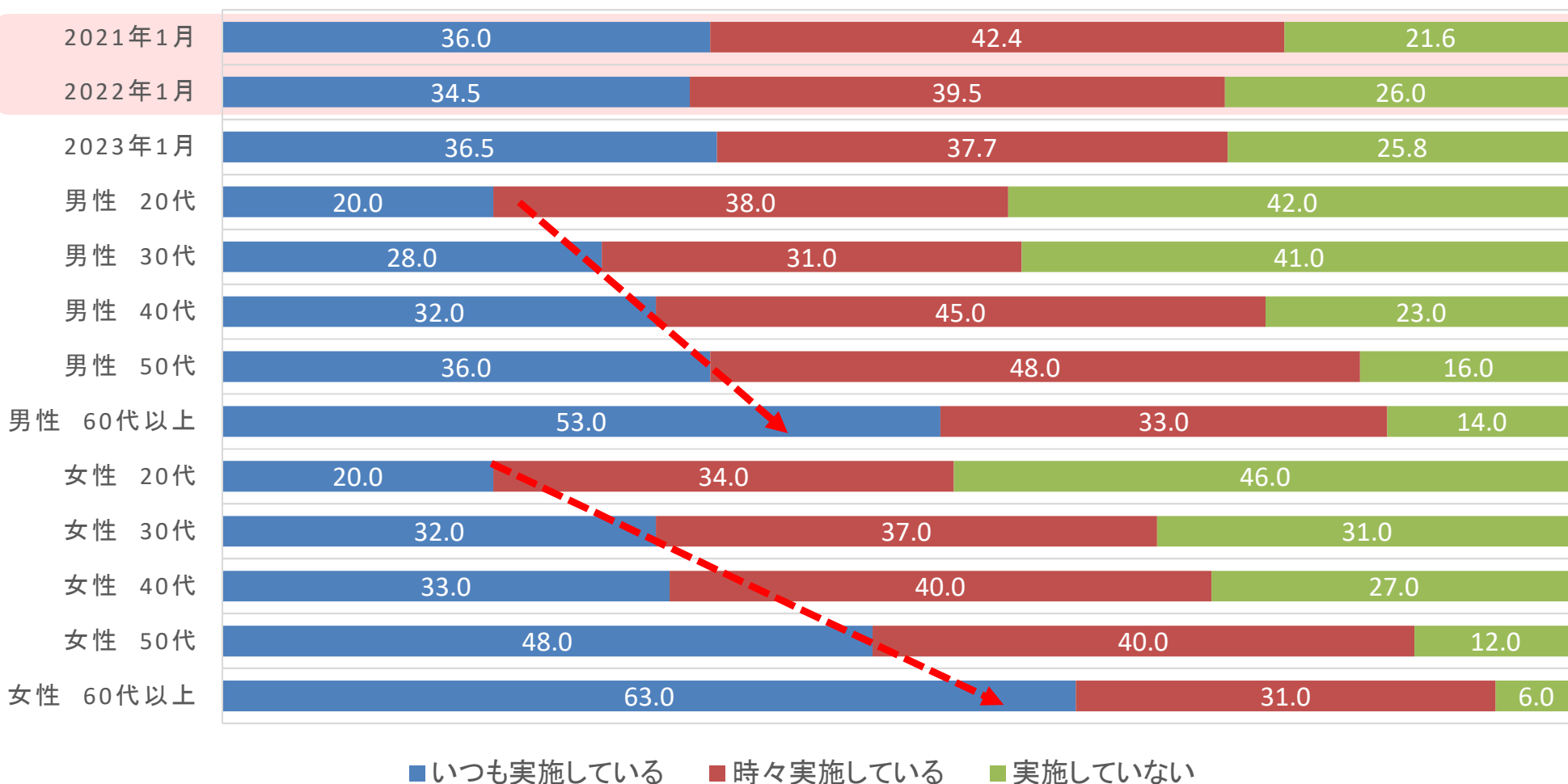


「いつも実施している」の回答率は32.4%となり、前年と比較して微減。
男女ともに年代が高い程、実施率は高くなる傾向。

あなたは普段から次にあげる個人でできる環境にやさしい行動をしていますか？

N数=1,000名

【省エネ型の家電や照明器具を使用する】（単一回答）



「いつも実施している」の回答率は36.5%となり、前年と比較して微増。
男女ともに年代が高い程、実施率は高くなる傾向。

合計52.5%が環境問題・環境対策に関心を示している

「関心がある」16.5%、「やや関心がある」36.0%。
前回の「関心がある/やや関心がある」の合計56.2%より回答率は下がるが、半数以上は関心がある。

関心のある環境問題は「地球温暖化」が1位

1位「地球温暖化」65.9%・2位「ごみの減量やリサイクル」60.1%・3位「食品ロス」52.7%。
前年と比較し、3位に「食品ロス」が上がる。割合は前年比+15.6%増

環境にやさしい行動で最も実施されているのは「ごみの分別」

「いつも実施している」75.3%・「時々実施している」16.6%。合計で91.9%と9割を超える。

合計86.7%がマイバッグ・マイボトルなどを活用していると回答

「いつも実施している」64.6%・「時々実施している」22.1%。

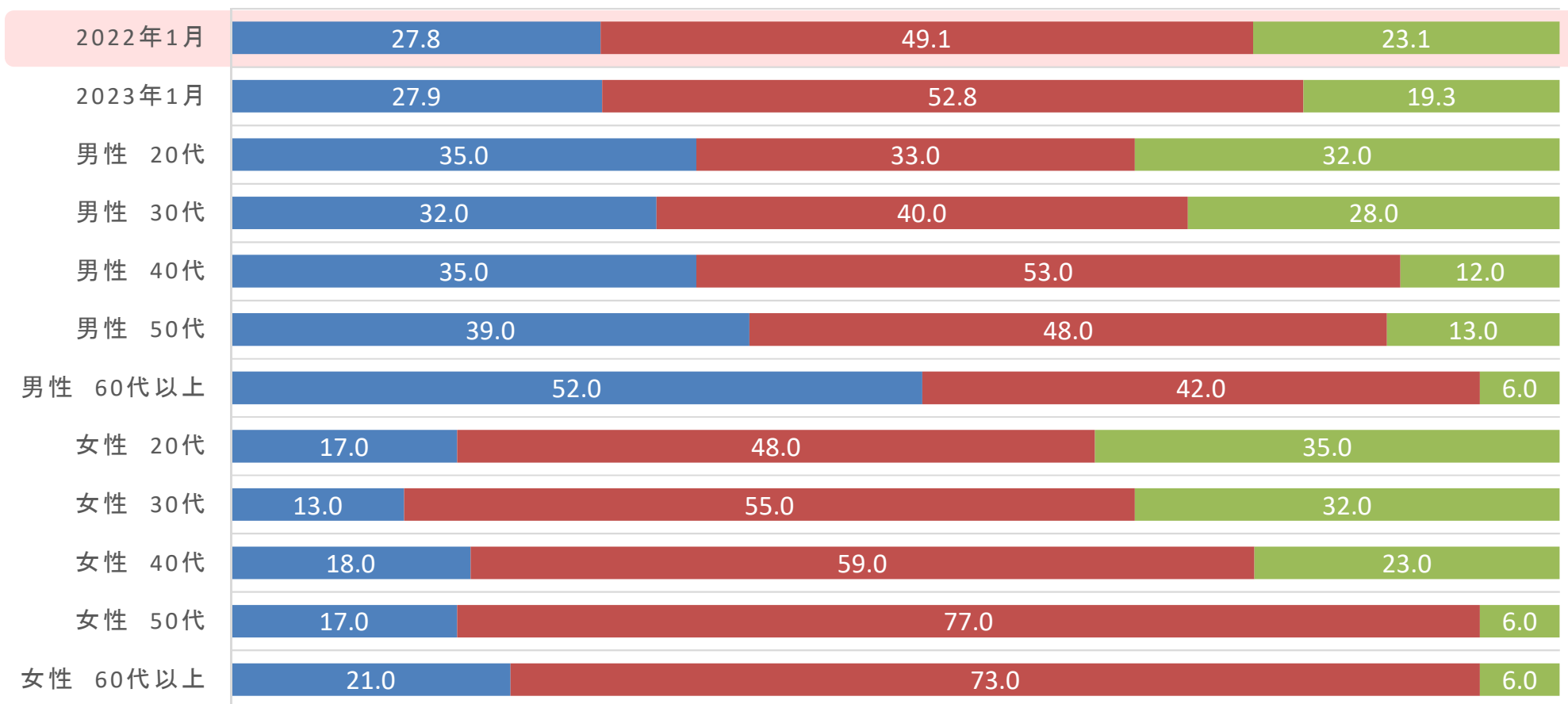
合計86.4%が食べ残しや食材の無駄（食品ロス）を減らす行動をしていると回答

「いつも実施している」58.7%・「時々実施している」27.7%。
前年とは横ばいであるが、全体の関心度は高い。

「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか？（単一回答）

N数=1,000名

※2022年からの追加調査項目の為、それ以前のデータはありません。



■ 知っている ■ 名前は聞いたことがあるが詳しくは知らない ■ 全く知らない

「知っている」27.9%・「名前は聞いたことがある」52.8%。

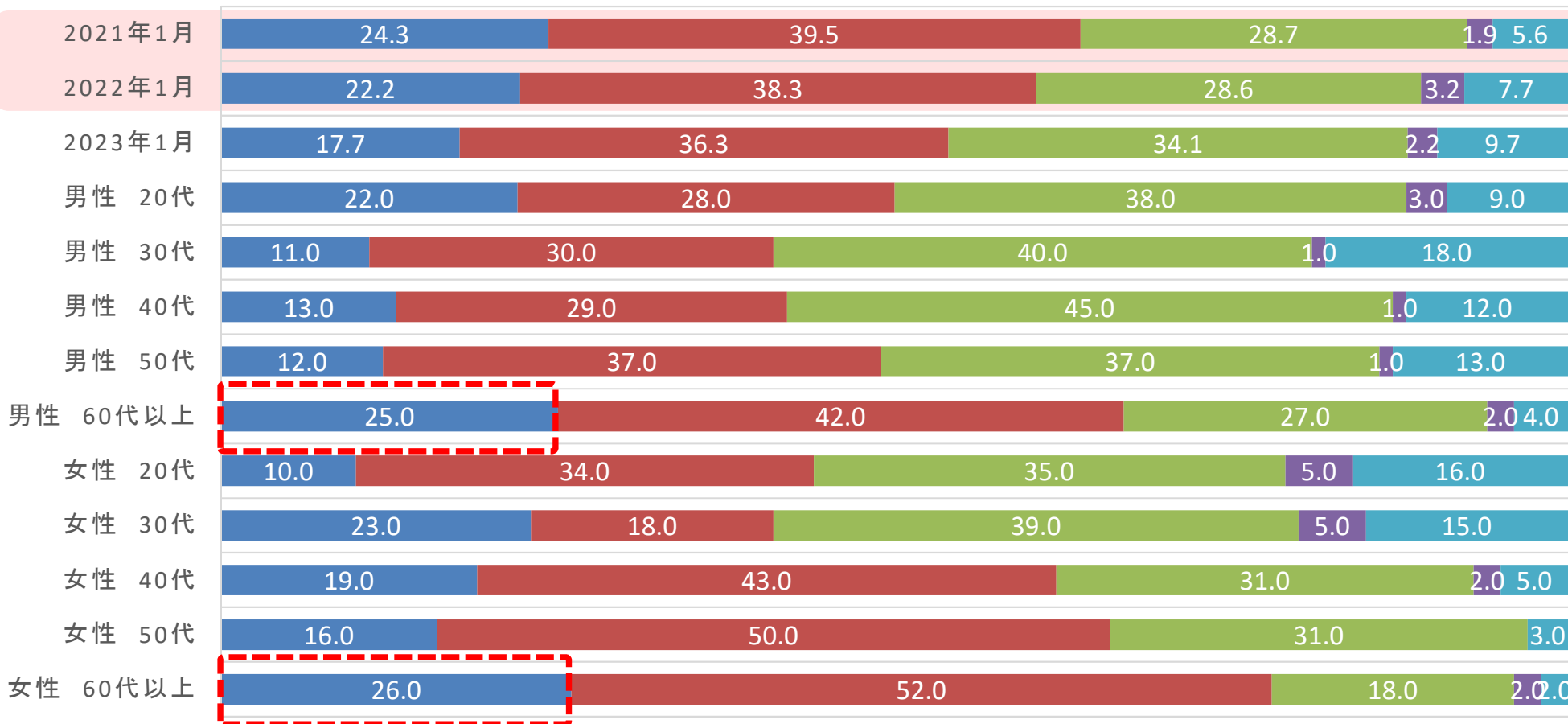
前年よりも認知度はやや上がっている。

女性よりも男性の方が「知っている」の回答率が高い。

環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージについて。

N数=1,000名

【環境に配慮した商品やパッケージを提供する企業はイメージがいい】（単一回答）



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらとも言えない ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

「当てはまる」17.7%・「どちらかといえば当てはまる」36.3%

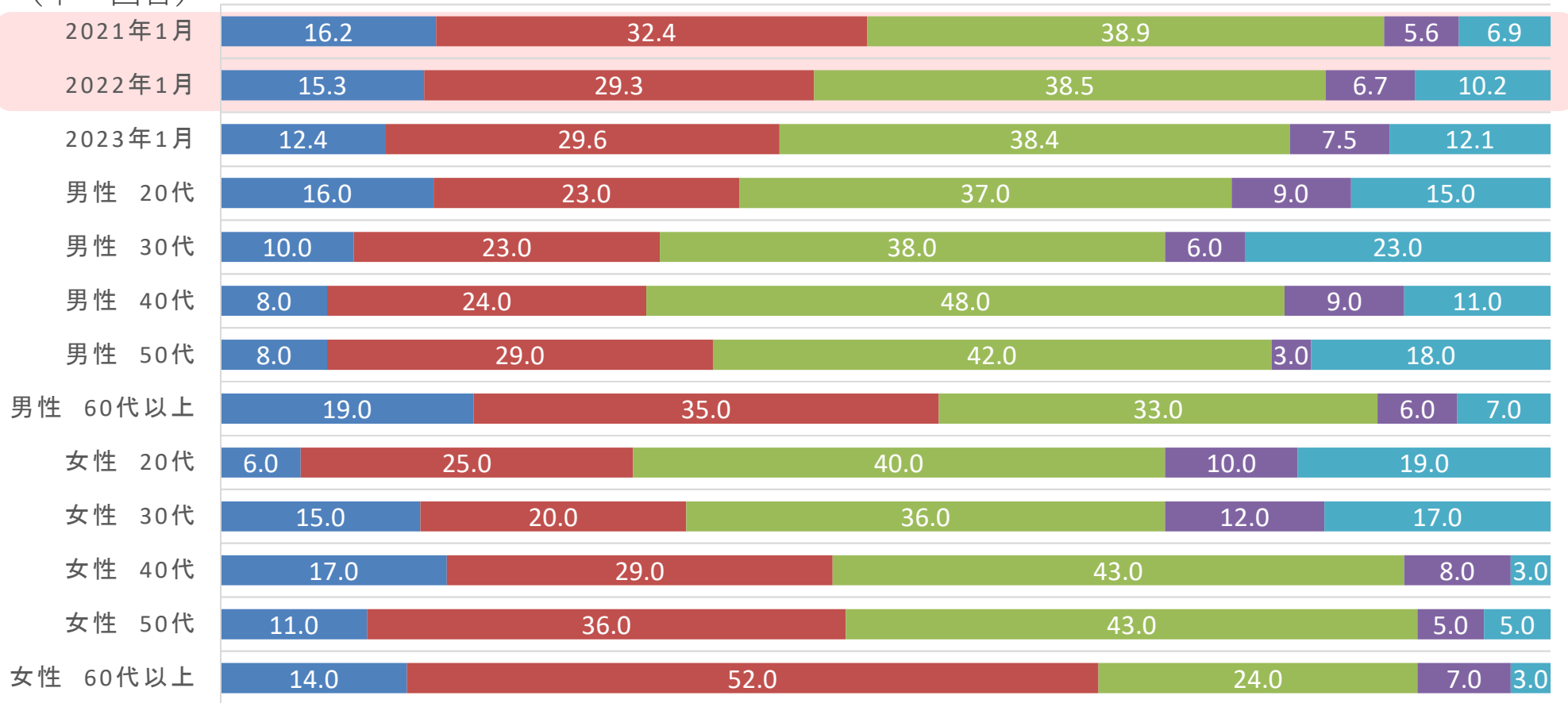
当てはまると回答する人は前年よりもやや減少傾向。

男女ともに60代以上の「当てはまる」の回答率が高い。

環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージについて。

N数=1,000名

【多少不便になっても環境に配慮した商品や環境に配慮したパッケージを使用した商品を使用・購入したい】
(単一回答)



■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらとも言えない ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

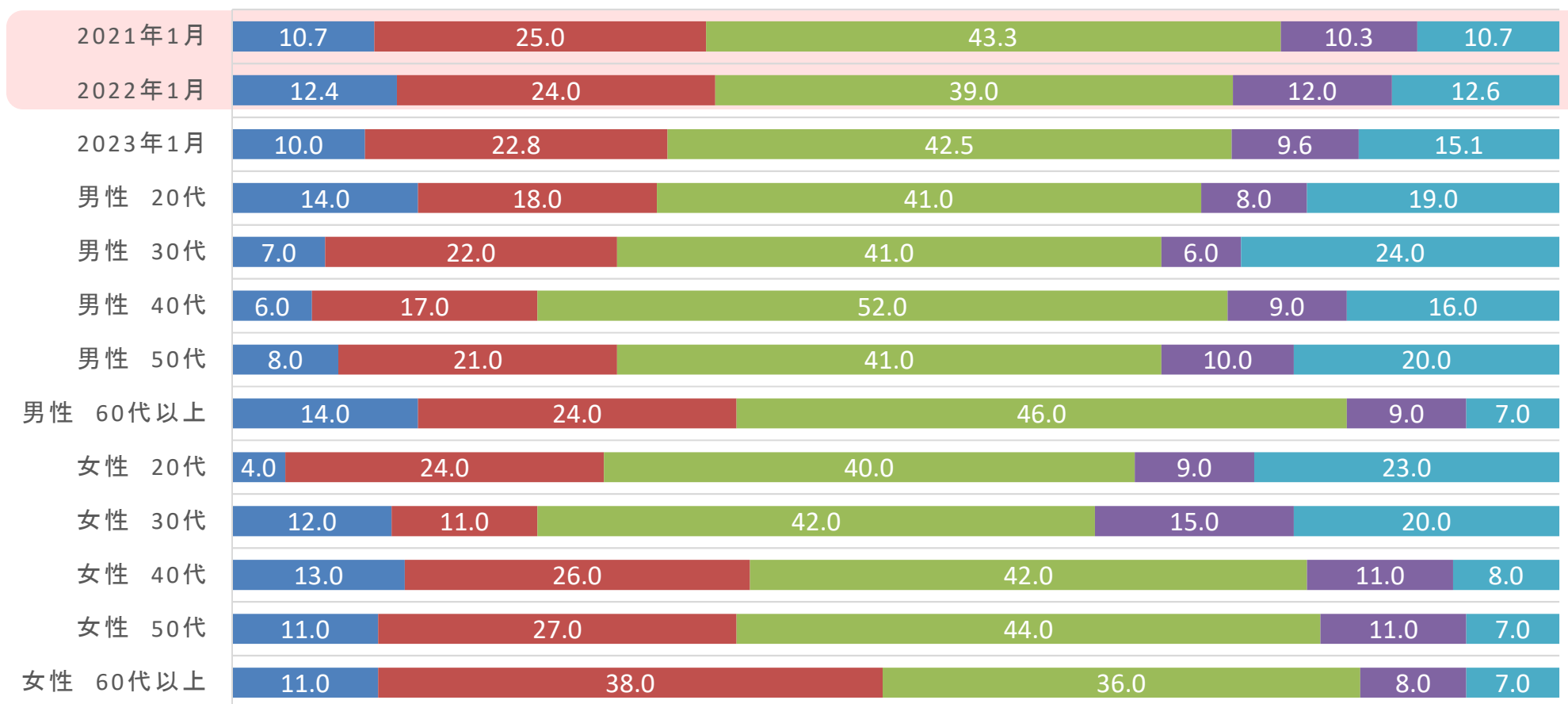
「当てはまる」15.3%・「どちらかといえば当てはまる」29.3%
男女ともに年代が高くなるにつれ、
「当てはまる/どちらかといえば当てはまる」の回答率が高くなる。

環境配慮に取り組む企業や商品・パッケージに対するイメージについて。

N数=1,000名

【多少価格が上がったとしても環境に配慮した商品や環境に配慮したパッケージを使用した商品を使用・購入したい】

(単一回答)

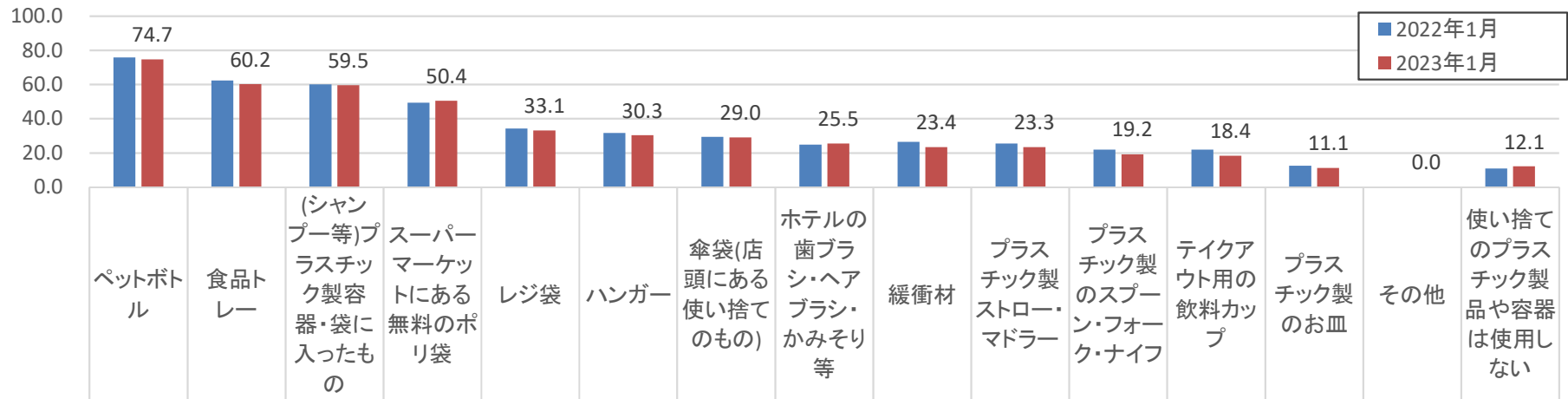


■ 当てはまる ■ どちらかと言えば当てはまる ■ どちらとも言えない ■ どちらかと言えば当てはまらない ■ 当てはまらない

「当てはまる」10.0%・「どちらかと言えば当てはまる」22.8%。
価格が上がることもあり「どちらとも言えない」が42.5%と最も高い回答率。

使い捨てのプラスチック製品や容器について、普段使うものを教えてください。（複数回答） N数=1,000名

※2022年からの追加調査項目の為、それ以前のデータはありません。



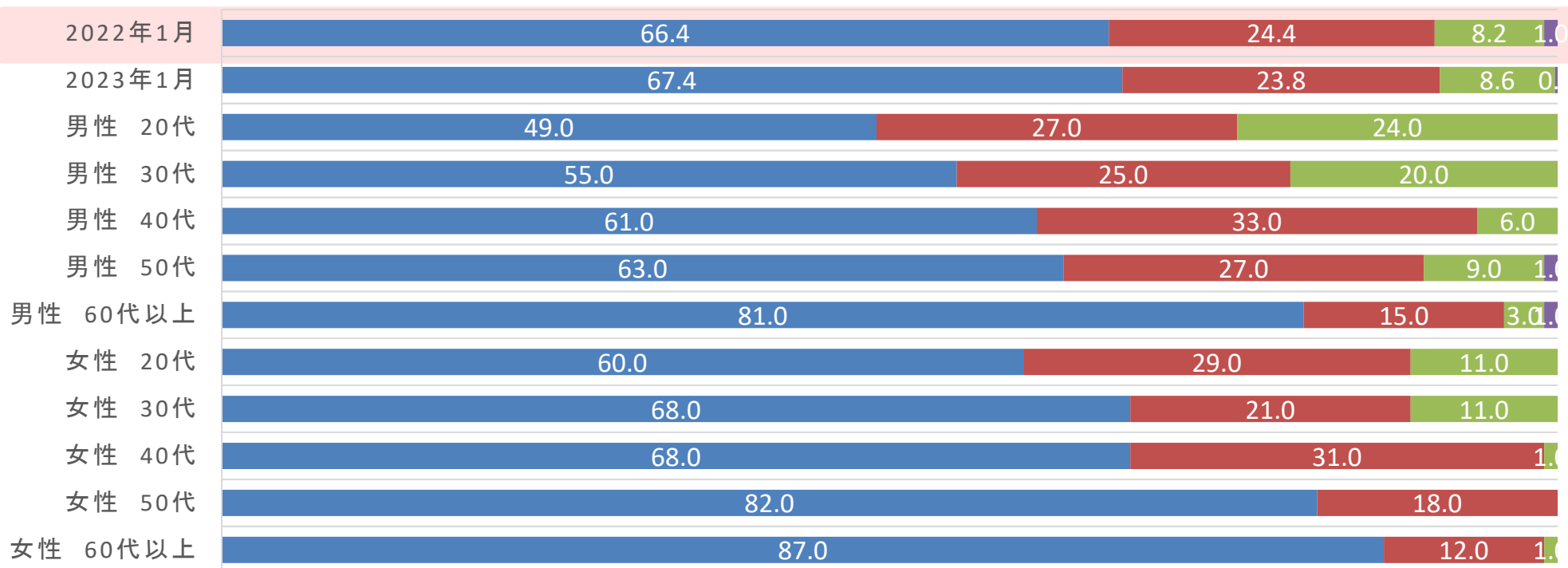
	2022年1月	2023年1月	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代以上	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代以上
ペットボトル	75.8	74.7	60.0	63.0	84.0	81.0	86.0	65.0	68.0	75.0	84.0	81.0
食品トレイ	62.4	60.2	39.0	40.0	51.0	61.0	73.0	43.0	57.0	68.0	87.0	83.0
(シャンプー等)プラスチック製容器・袋に入ったもの	60.1	59.5	39.0	48.0	56.0	62.0	70.0	43.0	52.0	72.0	79.0	74.0
スーパーマーケットにある無料のポリ袋	49.4	50.4	25.0	34.0	39.0	50.0	53.0	42.0	46.0	63.0	79.0	73.0
レジ袋	34.3	33.1	33.0	32.0	36.0	34.0	37.0	30.0	31.0	37.0	36.0	25.0
ハンガー	31.7	30.3	14.0	19.0	29.0	31.0	44.0	25.0	27.0	38.0	37.0	39.0
傘袋(店頭にある使い捨てのもの)	29.3	29.0	9.0	25.0	22.0	31.0	36.0	13.0	29.0	39.0	47.0	39.0
ホテルの歯ブラシ・ヘアブラシ・かみそり等	24.8	25.5	15.0	18.0	18.0	28.0	31.0	23.0	25.0	37.0	32.0	28.0
緩衝材	26.5	23.4	8.0	16.0	22.0	22.0	41.0	10.0	26.0	29.0	29.0	31.0
プラスチック製ストロー・マドラー	25.4	23.3	21.0	22.0	21.0	21.0	22.0	20.0	28.0	30.0	28.0	20.0
プラスチック製のスプーン・フォーク・ナイフ	21.9	19.2	13.0	12.0	20.0	22.0	24.0	14.0	22.0	21.0	26.0	18.0
テイクアウト用の飲料カップ	21.9	18.4	11.0	11.0	19.0	18.0	18.0	11.0	20.0	25.0	29.0	22.0
プラスチック製のお皿	12.5	11.1	7.0	7.0	10.0	16.0	14.0	8.0	15.0	15.0	8.0	11.0
その他	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
使い捨てのプラスチック製品や容器は使用しない	10.8	12.1	26.0	23.0	8.0	9.0	3.0	21.0	17.0	7.0	2.0	5.0

1位「ペットボトル」74.7%・2位「食品トレイ」60.2%・
3位「(シャンプー等)プラスチック製容器・袋に入ったもの」59.5%。
1位～3位は前年と変化なし。

2020年7月よりレジ袋が有料化され2年半が経ちました。
マイバッグを利用するようになりましたか？（単一回答）

N数=1,000名

※2022年からの追加調査項目の為、それ以前のデータはありません。



- マイバッグを持ち歩くため、レジ袋は購入しない
- 基本的にはマイバッグを使い、忘れた際やレジ袋のストックが減った際等に時々レジ袋を購入する
- マイバッグを持ち歩かない。又は、レジ袋が必要なため、レジ袋を購入する
- その他

「マイバッグを持ち歩くため、レジ袋は購入しない」67.4%。
「基本的にはマイバッグを使い、時々レジ袋を購入する」と合計した
91.2%は前年と比較して横ばい。9割以上がマイバッグを使う習慣がある。

右の写真のようなプラスチック製食品容器についてのイメージとして当てはまるものを全てお選びください。（複数回答）

N数=1,000名

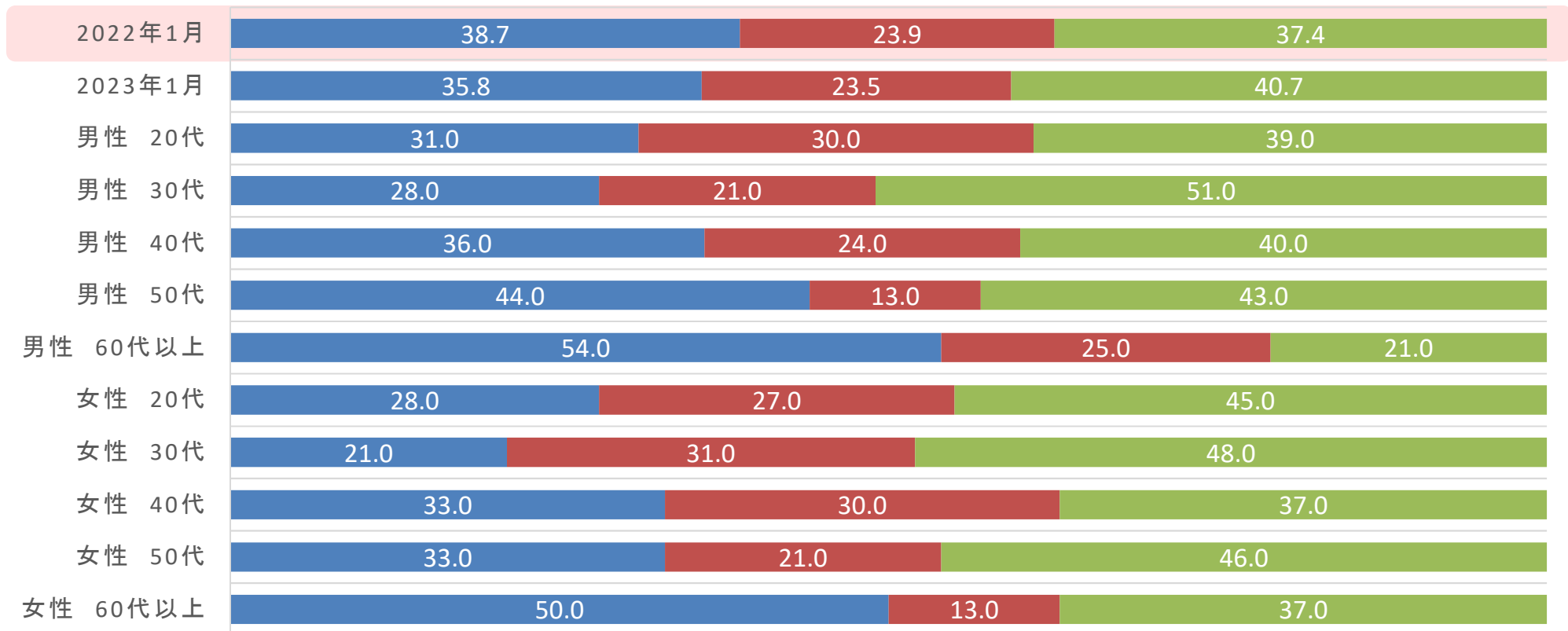


1位「便利で使い勝手がいい」43.2%・2位「衛生的」
 前年と比較し、1位と2位は逆転している。（結果は一昨年と同じ）

プラスチック製食品容器の素材として、「植物由来素材」と「リサイクル素材」のどちらが環境にやさしいイメージがありますか？（単一回答）

N数=1,000名

※2022年からの追加調査項目の為、それ以前のデータはありません。



■ 植物由来素材 ■ リサイクル素材 ■ 両方

1位「両方」40.7%

2位「植物由来素材」35.8%。

合計76.5%が「植物由来素材」に対して環境にやさしいイメージがある。

植物由来素材を選んだ理由※抜粋



元々自然にあるものを利用しているから

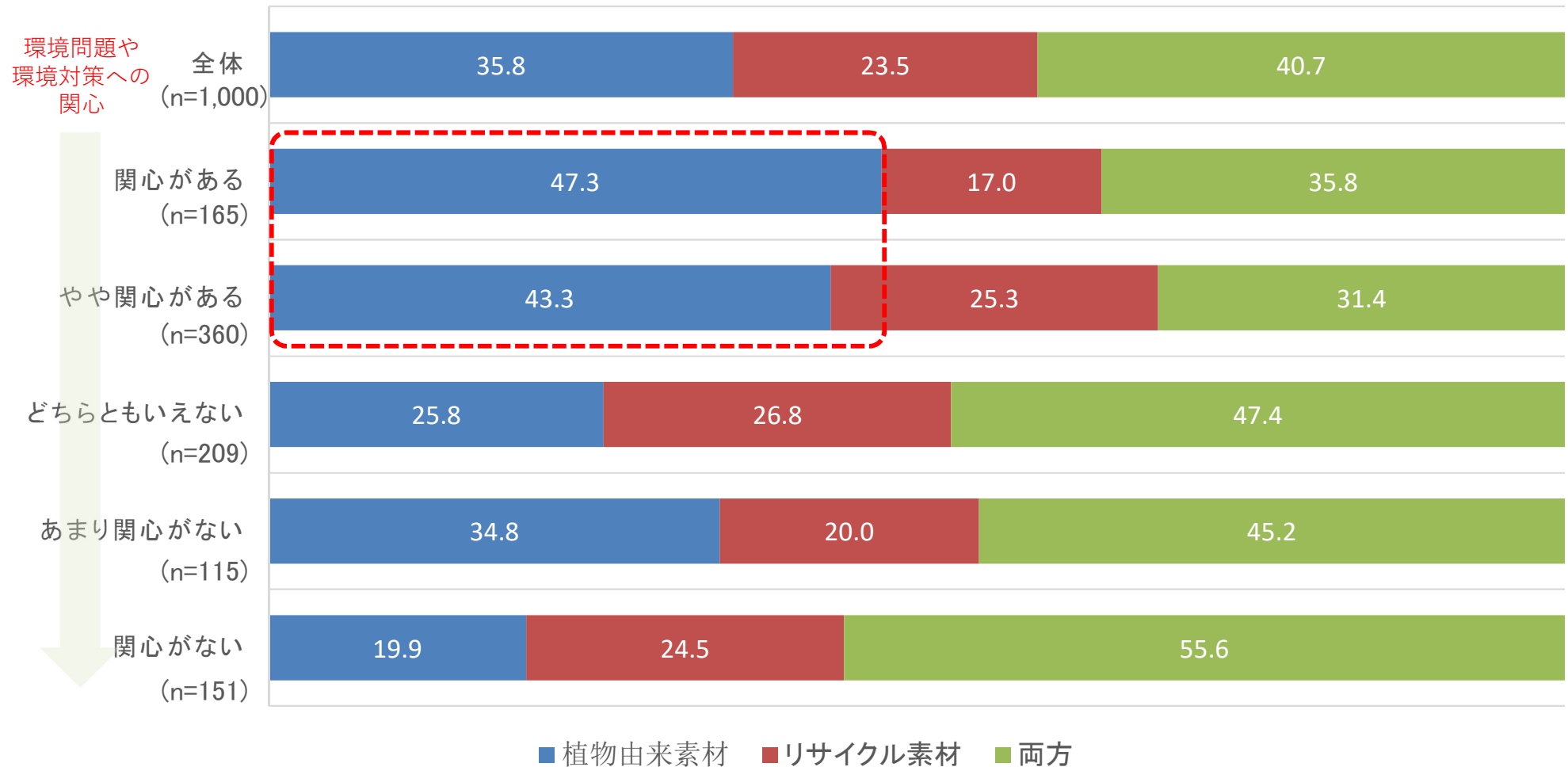
環境に優しそうだから

リサイクルは衛生が不安…
植物のイメージがいい



Q1環境問題や環境対策への関心とQ9プラ製食品容器の環境にやさしいイメージの素材
をクロス集計（単一回答）

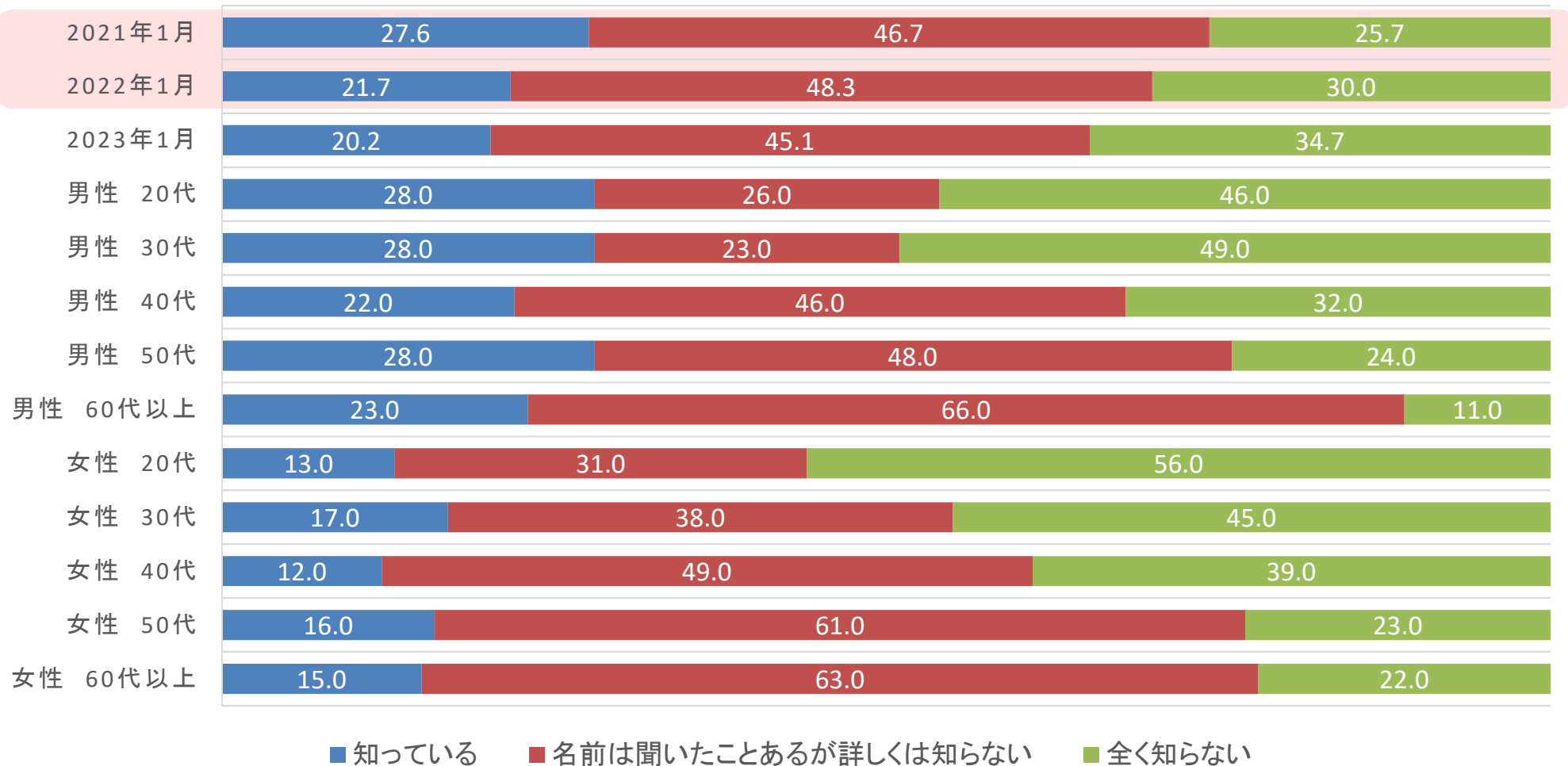
N数=1,000名



環境に対して「関心がある/やや関心がある」と回答した方は
4割以上が「植物由来素材」と回答している。

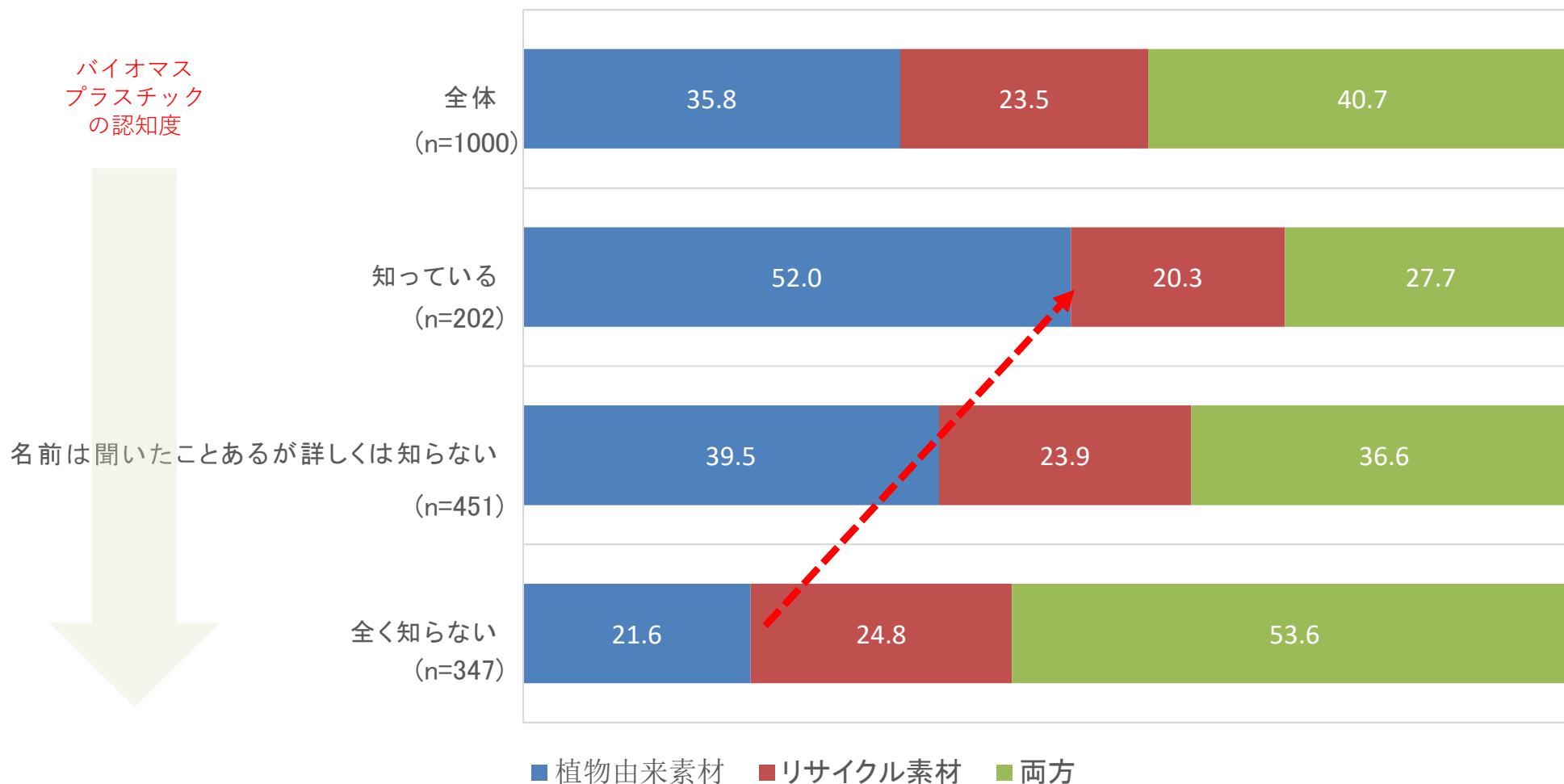
石油ではなく植物を原料とするバイオマスプラスチックについて知っていますか？
(単一回答)

N数=1,000名



「知っている」20.2%・「名前は聞いたことがある」45.1%。
女性よりも男性の方が「知っている」の回答率が高い。

Q9プラ製食品容器の環境にやさしいイメージの素材とQ10バイオマスプラスチックの認知度 N数=1,000名
をクロス集計（単一回答）



バイオマスプラスチックの認知度が高いほど
環境にやさしいイメージの素材として「植物由来素材」の回答率が高い。

下の写真のサラダは食材・内容量・価格は全く同じですが、食品容器の種類だけが違います。N数=1,000名
どちらを購入したいと思いますか？（単一回答）



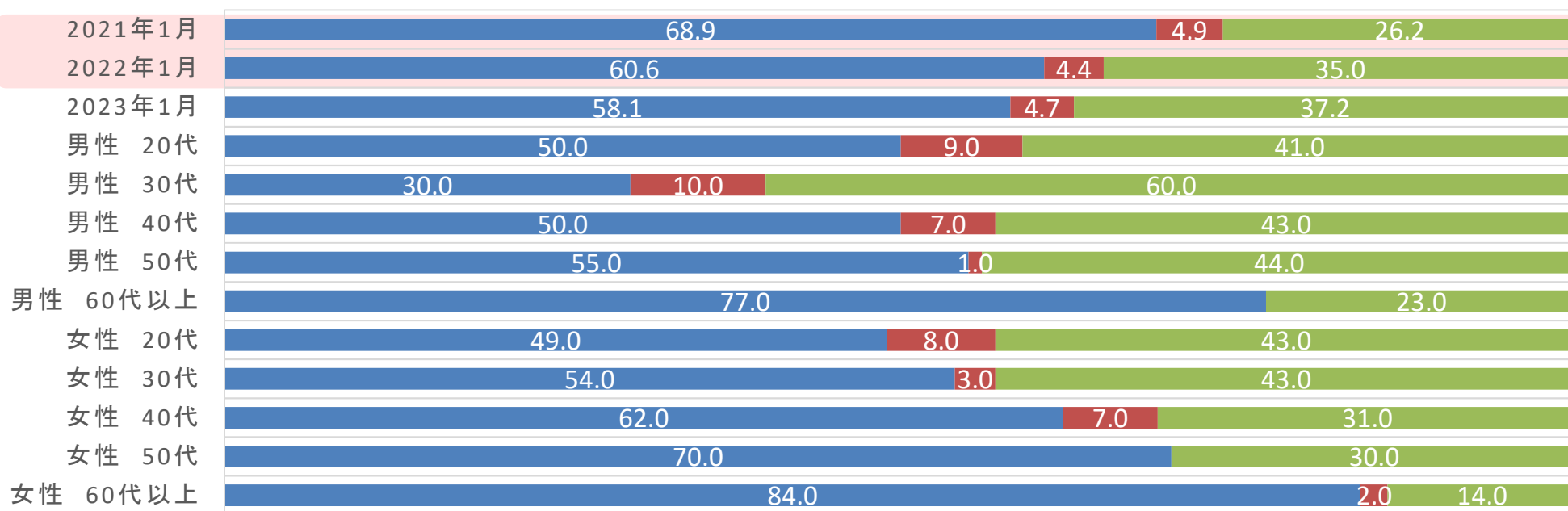
①環境に配慮した
植物由来プラスチック食品容器を使用

価格 298円(税抜)



②石油由来プラスチック食品容器を使用

価格 298円(税抜)



- 環境に配慮した植物由来プラスチック食品容器のサラダ(298円)
- 石油由来プラスチック食品容器のサラダ(298円)
- 気にしない(どちらでもいい)

58.1%が「植物由来プラスチック食品容器のサラダ」を購入すると回答。
年代が高くなるにつれて「植物由来」の回答率が高くなる。

Q1環境問題や環境対策への関心とQ11環境配慮型容器の購入率（同価格での比較）を
クロス集計（単一回答）

N数=1,000名



①環境に配慮した
植物由来プラスチック食品容器を使用

価格 298円(税抜)



②石油由来プラスチック食品容器を使用

価格 298円(税抜)

環境問題や
環境対策への
関心

全体

(n=1000)

関心がある

(n=165)

やや関心がある

(n=360)

どちらともいえない

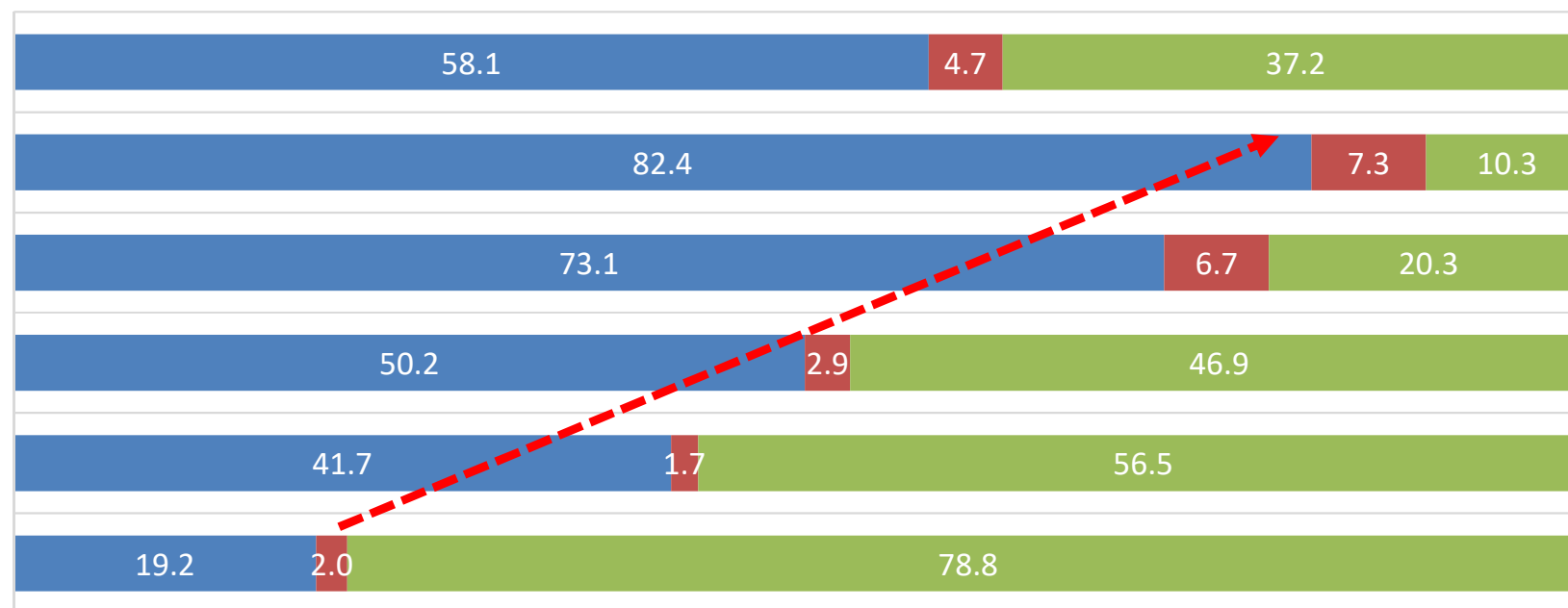
(n=209)

あまり関心がない

(n=115)

関心がない

(n=151)



■ 環境に配慮した植物由来プラスチック食品容器のサラダ(298円)

■ 石油由来プラスチック食品容器のサラダ(298円)

■ 気にしない(どちらでもいい)

環境への関心が高い方ほど「植物由来」の回答率が高い。
環境に対し「関心がある/やや関心がある」と回答した方は
7割以上が「植物由来」と回答している。

下の写真のサラダは食材・内容量は全く同じですが、食品容器の種類と価格が違います。
どちらを購入したいと思いますか？（単一回答）

N数=1,000名



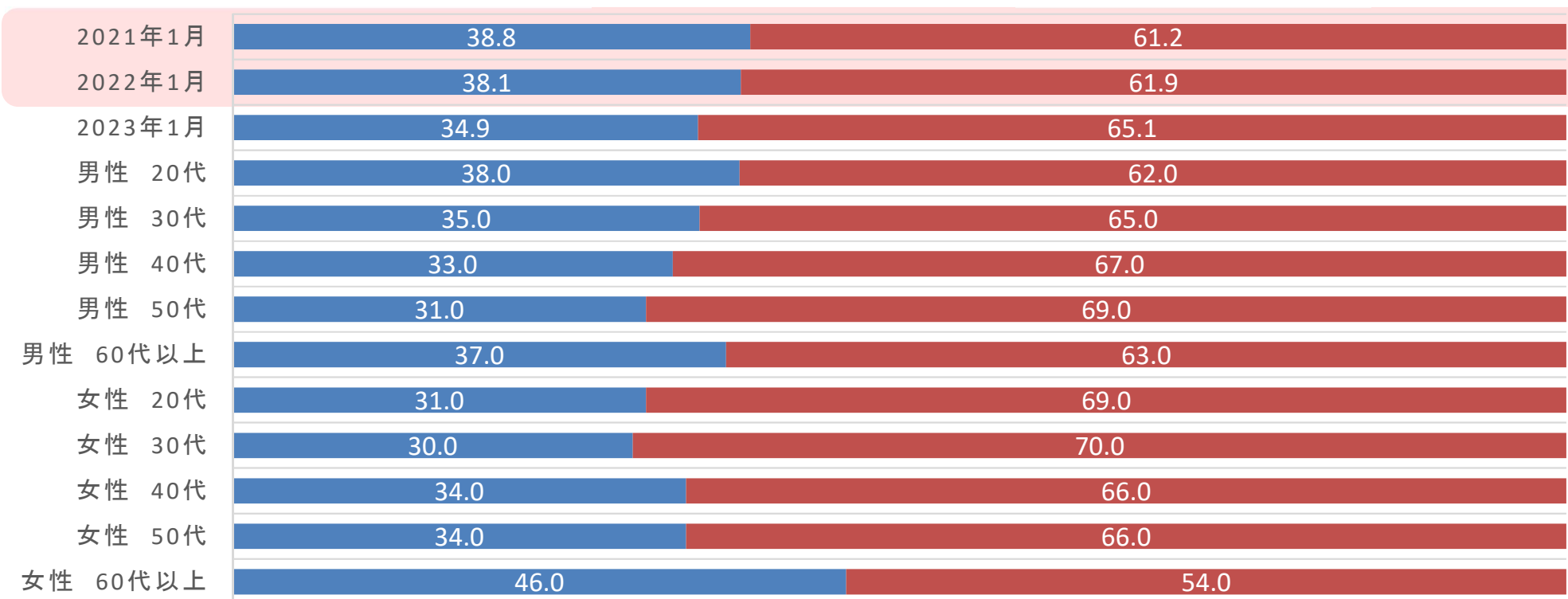
①環境に配慮した
植物由来プラスチック食品容器を使用

価格 320円(税抜)



②石油由来プラスチック食品容器を使用

価格 298円(税抜)



■ 環境に配慮した植物由来プラスチック食品容器のサラダ(320円) ■ 石油由来プラスチック食品容器のサラダ(298円)

34.9%が「植物由来プラスチック食品容器のサラダ」を購入すると回答。
年代・性別にかかわらず価格が上がることで「植物由来」の回答率は下がるが
60代以上の女性は「植物由来」の回答率は他の年代より高い。

Q1環境問題や環境対策への関心とQ12環境配慮型容器の購入率（価格違いでの比較）を
クロス集計（単一回答）

N数=1,000名



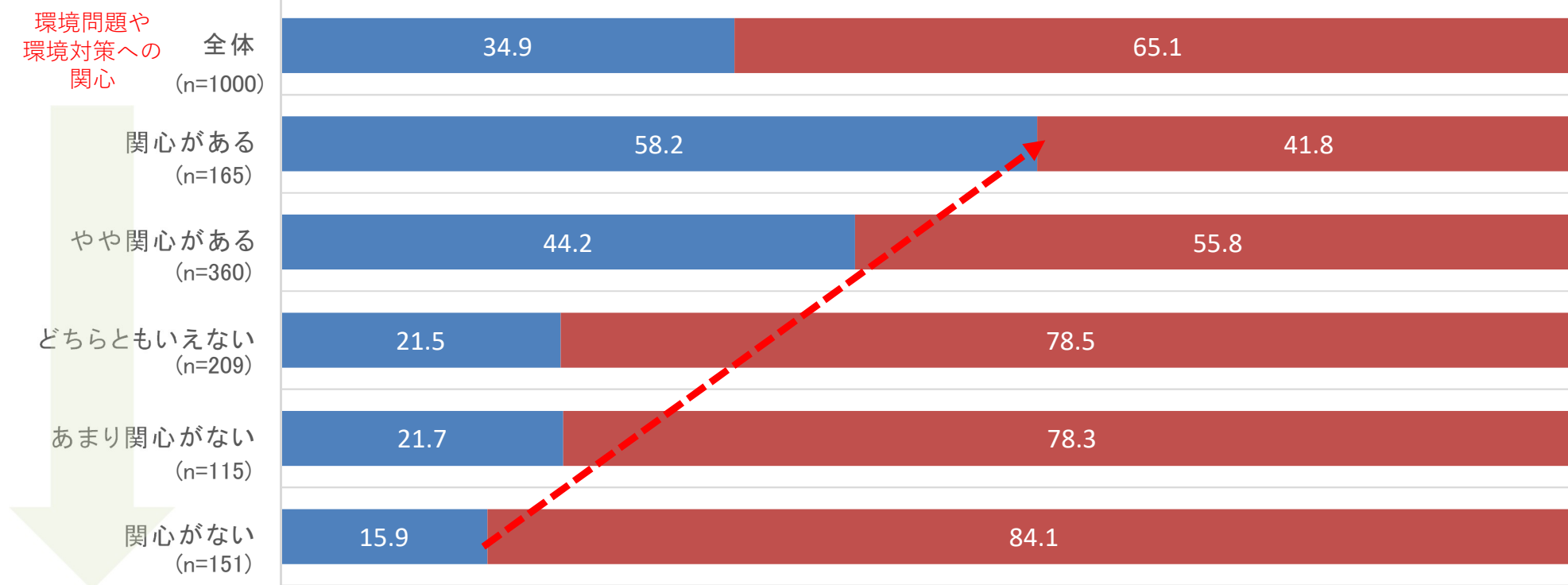
①環境に配慮した
植物由来プラスチック食品容器を使用

価格 320円(税抜)



②石油由来プラスチック食品容器を使用

価格 298円(税抜)



環境への関心が高い方ほど価格差があっても「植物由来」を選択する傾向に。
環境に対し「関心がある」と回答した方は
61.0%が「植物由来」と回答している。

売場の商品が下の写真の様なパネルやポップ・動画・シール等で環境に配慮されている商品だとわかる場合、購入してみたいと思いますか？（複数回答）

N数=1,000名

※前年は調査していないため2022年以前のデータはありません。



サーマルシールでPR



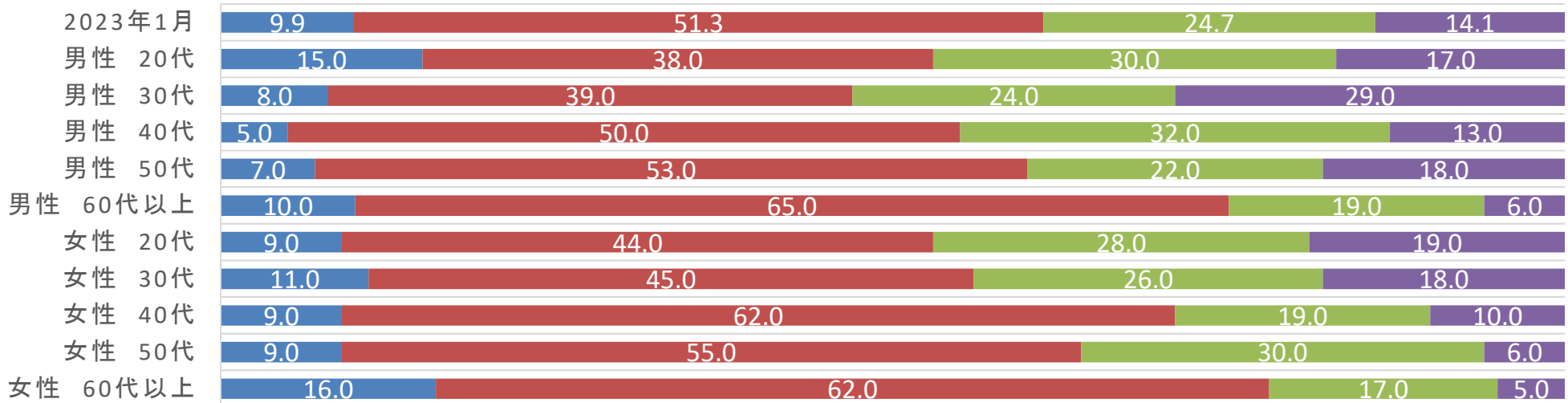
容器刻印や印刷でPR



モニターやiPadで動画PR



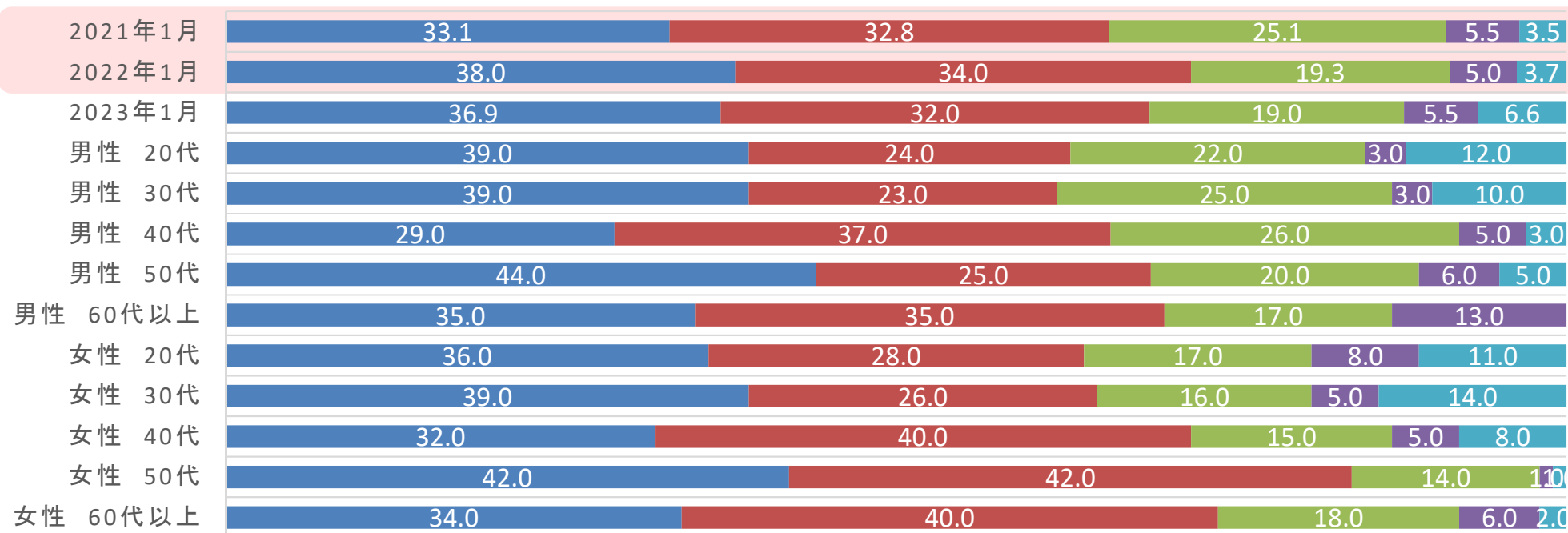
売場のパネルやPOPでPR



- 大変気になるので是非とも購入してみたい
- 少し気になるので購入してみたい
- 少し気になるが購入してみたいとは思わない
- 気にならないし購入してみたいとは思わない

全体の合計61.2%が「是非とも購入してみたい」「購入してみたい」と回答。
男女共に年齢が上になるほど購入に前向きな回答であり、
特に男女60代以上は4人に3人は購入してみたいと回答。

もしプラスチックがあなたの生活からなくなったとしたら困ると思いますか？（単一回答） N数=1,000名



■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらとも言えない ■ あまりそう思わない ■ 全く思わない

「そう思う」36.9%・「ややそう思う」32.0%となり
合計68.9%が生活の中にプラスチックが必要不可欠だと感じている。

カーボンニュートラルを「知っている」27.9%
バイオマスプラスチックを「知っている」20.2%

カーボンニュートラル：「知っている」27.9%・「名前は聞いたことがある」52.8% 合計80.7%
バイオマスプラスチック：「知っている」20.2%・「名前は聞いたことがある」45.1% 合計65.3%
どちらも、女性より男性の方が「知っている」の回答率が高い。

合計91.2%がマイバッグを使う習慣がある。

「マイバッグを持ち歩くため、レジ袋を購入しない」67.4%・
「基本的にはマイバッグを使い、時々レジ袋を購入する」23.8%

プラスチック製食品容器のイメージは「便利で使い勝手がいい」が1位で43.2%
2位「衛生的」34.1%・3位「食品を保護する」31.1% 前年と1位と2位が逆転

環境にやさしいイメージ ⇒ 植物由来素材…35.8% リサイクル…23.5% 両方…40.7%

どちらもイメージはいいが、植物由来素材の方がより環境にやさしいというイメージを持たれている。
また、バイオマスプラスチックの認知度が高いほど、「植物由来素材」の回答率が高い。

合計68.9%が「生活からプラスチックがなくなったら困る」と回答

「そう思う」36.9%・「ややそう思う」32.0%
前年（合計72.0%）よりも「そう思う/ややそう思う」の回答率が微減。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

【お問合せ】



営業本部	TEL(0568)67-5513(代)	FAX(0568)67-7721	〒484-0894	愛知県犬山市羽黒宮浦1番地
バイオ営業部	TEL(0568)67-5513(代)	FAX(0568)67-7721	〒484-0894	愛知県犬山市羽黒宮浦1番地
札幌営業所	TEL(011)864-8394(代)	FAX(011)864-8147	〒003-0024	札幌市白石区本郷通4丁目南1番2号
仙台支店	TEL(022)223-3113(代)	FAX(022)223-3115	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2丁目8番15号(太陽生命ビル5階)
東京支店	TEL(03)6702-0190(代)	FAX(03)5649-3606	〒103-0002	東京都中央区日本橋馬喰町1丁目6番7号
大宮営業部	TEL(048)650-3786(代)	FAX(048)650-3789	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1丁目62の1(ワコーレ大宮ビルⅡ2階)
西東京営業部	TEL(042)724-1580(代)	FAX(042)724-6495	〒194-0022	東京都町田市森野1丁目25番5号(博信ビル3階)
名古屋支店	TEL(052)732-1411(代)	FAX(052)733-3740	〒464-0850	名古屋市千種区今池4丁目1番29号(ニッセイ今池ビル1階)
金沢営業所	TEL(076)237-5480(代)	FAX(076)237-8615	〒920-0062	金沢市割出町633番地の1(新保第2ビル3階)
静岡営業所	TEL(054)205-3231(代)	FAX(054)273-2750	〒420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町11番地7(大樹生命静岡駅前ビル5階)
大阪支店	TEL(06)6445-7722(代)	FAX(06)6445-7527	〒550-0003	大阪市西区京町堀1丁目6番4号(アーバンリサーチビル5階)
中四国支店	TEL(086)212-1611(代)	FAX(086)212-1615	〒700-0821	岡山市北区中山下1丁目2-3(太陽生命岡山ビル7階)
福岡支店	TEL(092)431-8032(代)	FAX(092)473-5908	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南1丁目2番15号(事務機ビル5階)